

あーすフェスタかながわ２０１４実施報告書
みんなで育てる多文化共生

■はじめに

神奈川県には、現在、約 160 の国と地域の 16 万人を超える外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

私たちは、多文化共生社会の実現に向けて、さまざまな文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールするとともに、互いを理解するため、2000 年から毎年、「あーすフェスタかながわ」を開催してきました。

あーすフェスタかながわは、民族団体、NGO、市民グループ等で実行委員会を組織し、多様な国籍、文化を持つ実行委員、企画委員が話し合いを重ね、企画、準備をすすめて開催してきました。

プログラムは、「みんなで育てる多文化共生」をテーマに、民族芸能ステージ、外国籍県民フォーラム、屋台村、ワークショップ、展示企画など、それぞれ工夫を凝らしたものとなりました。

15 回目の節目となる今回のフェスタを無事成功裏に終えることができ、開催に御協力いただいた皆さまには心からお礼申し上げます。これからも、多文化共生社会の実現のために、皆さまと共に歩んでいきたいと思ひます。

あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会

委員長	大竹准一	(神奈川県 拉致問題・国際戦略担当局長)
副委員長	金利中	(在日本大韓民国民団神奈川県地方本部 団長)
	李栄勲	(在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部 委員長)
	謝成發	(横浜華僑總會 会長)
監事	水田秀子	(公益財団法人かながわ国際交流財団 専務理事兼事務局長)
	丸谷士都子	(特定非営利活動法人 地球の木 理事長)
委員	尹日赫	(あーすネットかながわ 代表)
	神山武	(公益財団法人 アジア福祉教育財団難民事業本部 本部長)
	大倉一郎	(外国人学校ネットワークかながわ 代表)
	脇雅昭	(神奈川県 県民局くらし県民部国際課長)
	三國隆志	(神奈川県立国際言語文化アカデミア 所長)
	安部晋弘	(神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ) 館長)
		(公益社団法人青年海外協力協会総務・事業部あーすぷらざ課長)
	櫻井弘子	(特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会 会長)
	長瀬永輝	(クメールボランティア協会 会長)
	小幡俊弘	(独立行政法人 国際協力機構横浜国際センター 所長)
	田中房一	(小菅ヶ谷連合町内会自治会 会長)
	久永広喜	(特定非営利活動法人 在日本ラオス協会 理事長)
	風間聰彦	(栄区文化協会 会長)

温耀権 (第8期外国籍県民かながわ会議 委員長)

中村ノーマン (多文化活動連絡協議会 代表)

遠藤美彦 (横浜市栄区民文化センター (リリス) 館長)

尾仲富士夫 (横浜市栄区役所 区長)

事務局長 佐藤達也 (神奈川県 県民局くらし県民部国際課副課長)

以上 23 名 (2014 年 5 月 18 日現在)

目次

○ あーすフェスタかながわ 2014

1. 実施概要	1
2. 実施内容	3
3. 外国籍県民フォーラムの記録	21
4. 来場者アンケート結果	39
5. 企画委員名簿	51
6. 開催経過	54
7. 収支報告	60
8. あーすフェスタかながわテーマソング	61

あーすフェスタかながわ2014 実施概要

●テーマ

みんなで育てる多文化共生

●趣旨

神奈川県には、現在、約 160 の国と地域の約 16 万人の外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

あーすフェスタかながわ 2014 は、多文化共生社会の実現に向けて、様々な文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールすると共に、互いを理解する機会を作るため、県内の民族団体、NGO、市民ボランティア等が企画段階から共に力を合わせ開催したものです。

●日時

2014（平成 26）年 5 月 17 日（土）、18 日（日）

●会場

あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）
リリス（横浜市栄区民文化センター）

●入場者数

約 20,000 人

●主催

あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会

（構成団体）

あーすネットかながわ
外国人学校ネットワークかながわ
神奈川県立国際言語文化アカデミア
公益財団法人かながわ国際交流財団
クメールボランティア協会
小菅ヶ谷連合町内会自治会
在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
栄区文化協会
第 8 期外国籍県民かながわ会議
NPO 法人地球の木
横浜市栄区民文化センター（リリス）

公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部
神奈川県
神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
NPO 法人かながわ難民定住援助協会
独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
在日本大韓民国民団神奈川県地方本部
NPO 法人在日本ラオス協会
公益社団法人青年海外協力協会
多文化活動連絡協議会
横浜華僑総会
横浜市栄区役所

（以上 22 団体(50 音順) 平成 26 年 5 月 18 日現在）

●後援

外務省

駐横浜大韓民国総領事館

神奈川県日韓親善協会連合会

横浜市政策局

相模原市

公益財団法人横浜市国際交流協会

相模原市国際化推進委員会

N H K横浜放送局

F Mヨコハマ

神奈川県商工会連合会

横浜商工会議所

独立行政法人国際交流基金

中華人民共和国駐日本国大使館

神奈川県日本中国友好協会

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

川崎市

神奈川県教育委員会

公益財団法人川崎市国際交流協会

神奈川新聞社

t v k (テレビ神奈川)

一般社団法人神奈川県商工会議所連合会

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

財団法人自治体国際化協会

(以上 23 団体 (順不同))

●協賛

株式会社アーニー

株式会社飛鳥創業

いずみ野皮ふ科

有限会社えのき商会

王府井

公益社団法人神奈川県看護協会

一般社団法人神奈川県歯科医師会

神奈川県生活協同組合連合会

公益社団法人神奈川県病院協会

株式会社金港美装

在日本大韓民国民団神奈川県地方本部

株式会社佐藤印刷所

株式会社ジェー・エス・エス

謝甜記

生活クラブ生活協同組合

一般社団法人中華會館

通信設備株式会社

有限会社鳥鎌商店

ネパリ・バザー口

株式会社ファーストビデオ

藤木企業株式会社

株式会社民建

株式会社八雲堂

横浜商工会議所

株式会社横溝工務店

あかしや

株式会社石川商事

一案

株式会社エムエスエヌ

公益社団法人神奈川県医師会

一般社団法人神奈川県建設業協会

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

神奈川県日韓親善協会連合会

公益社団法人神奈川県薬剤師会

金香楼

在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部

株式会社産業貿易センター

四川料理京華楼

生活協同組合ユーコープ

大珍楼

中華街停車場

東方紅物産

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

ノムラテクノ株式会社

株式会社V S O C

三菱重工業メカトロシステムズ株式会社

株式会社メルヘン

株式会社横浜華聯旅行社

横浜中華学校校友会国術団

ラボ教育センター神奈川総局

(以上 50 企業・団体 (50 音順))

■実施内容

あーすフェスタかながわ 2014 の 2 日間にわたる模様を、プログラムごとに紹介します。

1 オープニングプログラム

【開会式】

県立柏陽高校の吹奏学部による演奏を交えながら、実行委員長の開会宣言、知事挨拶、来賓の紹介等を実施しました。

■日 時：17 日(土) 10:30～11:10 ■場 所：2 階 アトリウム ■参加者：約 200 人



2 ワークショッププログラム

国籍・文化の違いを超えて、共に「遊ぶ」「飲む」「聞く」「踊る」「作る」ことで、「多文化共生」の楽しさを感じることを目的に、子どもから大人まで気軽に体験できる参加型ワークショップを実施しました。

【せかいのわらべうた（こどものあそび歌）】

親子日本語教室や地域の日本語教室に通う外国の方々を講師に迎え、いろいろな国の手遊び歌、数え歌、わらべ歌などを楽しみました。

■日 時：17 日（土） 11:30～11:45・13:00～13:15・14:00～14:15・15:00～15:15

■場 所：1 階 保育室 ■参加者合計 90 人

■講 師：親子日本語教室等受講者のみなさん



【せかいの遊び場】

世界のさまざまな遊びを子どもたちに体験してもらうコーナー。中国・韓国朝鮮・インドネシア・日本のこま、フィリピンのバンブーダンス・スンカ、インドのキャロムなど。外国につながる中高生や大学生が説明しながら一緒に楽しみました。

■日 時：17日（土）11:00～16:00 18日（日）10:00～16:00

■場 所：1階 大・中会議室 ■参加者合計 約 2,100 人

■講 師：共学舎、ヨコハマハギハッキョ、県立相模原青陵高校、県立横浜清陵総合高校、たぶんかフリースクールよこはま、在日本大韓民国青年会、トマトマ教室、桜美林大学草の根国際理解教育支援プロジェクト他



【せかいの絵本の読み聞かせとおはなし】

いろいろなことばでの絵本の読み聞かせや人形劇、紙芝居、インドネシア影絵芝居を実施。絵本の展示も行いました。

■日 時：17日（土）13:00～16:00 計6回、18日（日）10:30～15:30 計5回

*18日 14:00 から1時間 インドネシアの影絵芝居

■場 所：2階 情報フォーラム

■参加者数合計：60 名

■講 師：ラクシャ、セミージャ文庫・ベトナム留学生・多文化読み聞かせ隊、スミヤント



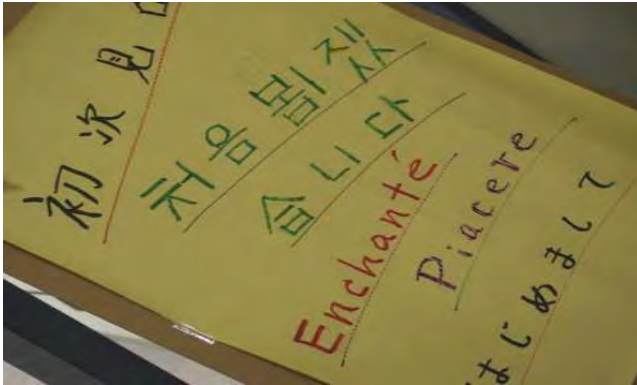
【せかいのごあいさつを毛筆で】

出会ったら、まずごあいさつ。せかいのあいさつを毛筆で体験しました。

■日 時：17日（土）11:00～16:00 ■場 所：1階 研修室A

■参加者数：47 人

■講 師：栄区書道協会師範のみなさん



【せかいの音と踊り】

2 日間で5 種のワークショップを開催。おとなから子どもまで楽しめる内容となりました。

①世界にサバイディー みんなでラオスの踊りをやってみよう

②ジャンベ・ジェンベ・ジンベ アフリカの太鼓を叩いてみよう！

③韓国の伝統打楽器チャンゴの響き

④頭に「つぼ」を乗せてパラグアイダンス♪

⑤世界にニーハオ2！みんなで腰鼓をやってみよう

■日 時 17 日（土）①14:00～15:00 ②15:00～15:40、15:50～16:30

18 日（日）③11:00～12:00 ④13:00～14:00 ⑤14:00～15:00

■場 所：1 階 創作スタジオ

■参加者数：①：25 人、②：70 人、③：32 人、④：70 人、⑤：30 人

■講 師：①高山 ビルン ②ンジャセ・ニャン、ババカル・ダボ

③NPO農楽教室 ④楠 瑠美子、県立座間総合高校 ⑤いきいきニーハオの会



【せかいのこうさく：いろんなものを作ってみよう】

中国・台湾の飾り、韓国・朝鮮に伝わるチェギチャギを、講師に教えてもらいながら作成しました。作品は記念に持ち帰ることもできました。

■日 時：17 日（土）13:00～16:00、18 日（日）10:30～16:00

■場 所：1 階 ワークショップルーム

■参加者数合計：247 人

■講 師：小泉 真由美、李 禎昇、金 銀珠



【せかいのスパイス】

いろいろなスパイスの使い方を知って、カレーのスパイスづくりを体験。作ったスパイスは持ち帰ることもできました。

■日 時：18日（日）11:00～15:00

■場 所：1階 研修室B ■参加者数：69人

■講 師：ケーシーディネス ■参加費：200円（※スパイス代として）

3 パフォーマンスプログラム

民族音楽や民族舞踊の華麗なステージ、盛りだくさんのプログラムが繰り広げられました。民族舞踊や民族音楽を通して、それぞれの地域の特色や文化の多様性がアピールされました。フィナーレでは、あーすフェスタならではの様々な民族楽器・舞踊によるセッションとともに、あーすフェスタテーマソングを披露して、盛況のうちに幕を閉じました。

【レッツ ダンス!! ～せかいの踊り大集合～】

各国の踊りを集め、『レッツ ダンス!!』を合言葉に観客の皆様にも一緒に楽しんでいただく観客参加型ステージを実施。

■日 時：17日(土)14:00～15:40 ■場 所：2階 リリスホール ■出 演：栄区文化協会、神奈川県朝鮮中高級学校舞踊部、エソダ・バスネット、バスンダリ、Aha3de（アハエデ）



【キラキラこどもステージ ～つなげよう笑顔の輪を未来に～】

■内 容：こどもたちを中心としたステージ。

■日 時：18日(日)11:30～13:00 ■場 所：2階 リリスホール ■出 演：ふれあい館ダガットクラブ、エスコラ・アクアレラ、栄区文化協会こども部、アイスインターナショナル、ダイアナ石山 SONG&DANCE ミュージカル教室



【集まれワールドミュージック ～せかいをみんなで感じよう～】

■内 容：世界各国の歌や踊りなど様々な文化や特色を生かしたステージ。

■日 時：18日(日)14:00～16:35 ■場 所：2階 プラザホール ■来場者数：663人

■出 演：相州海老名東柏和太鼓、NPO民団国際協力センター、アバダカポエイラ、神奈川朝鮮中高級学校民族管弦楽部、ドゥオ パオン チ ケージョ、マチュピチュ、横浜中華学校校友会国術団（獅子舞）、Nioun（ニユン）



【アイランドステージ】

■内 容：ファッションショーや音楽、ダンス、生ラジオ、KARAOKE@あーすフェスタ♪

■日 時：17日（土）、18日（日）11:00～16:00 ■場 所：アイランド・ステージ

■出 演：刈川 圭祐、アロハマーメイド、インドネシア人家族の会、小田原ディジュミー、バスンダリ、ラズ Belly チーム、春夏秋冬、エスコラ・アクアレラ・ブラジル、タヒチプロモーション、アイスインターナショナル、ナオピオ オ コーラウイアパナ・ピカケ、メレラニ



【本郷台駅前パフォーマンス】

(1) プレイベント

演奏パフォーマンスやビラ配布等、フェスタの宣伝を行いました。

■日 時：5月10日(土)13:00～15:30 ■場 所：本郷台駅前

■出 演：NPO民団国際協力センター



(2) フェスタ当日

■日 時：5月17日(土)、18日(日) 10:20～14:00 ■場 所：本郷台駅前

■出 演：アロハマーメイド、バスンダリ、小田原ディジュミー、インドネシア人家族の会、NPO民団国際協力センター、ツアヒネタヒチ、タヒチプロモーション、いきいきニーハオ、アバダカポエイラ、ラズ Belly チーム



【大道芸】

バルーンアートやテーブルマジック。子どもたちに大人気でした。

■日 時：17日（土）開会式終了後～15:30、18日（日）11:00～15:30 ■場 所：アトリウムほか



【フィナーレ】

あーすフェスタでしか見ることのできない国際色豊かなアーティストによる音楽と踊りのコラボレーションでフェスタを締めくくりました。

■日 時：18日（日）16:35～17:30 ■場 所：2階 プラザホール ■来場者数：663名

■出 演：tomoko、NPO民団国際協力センター、アバダカポエイラ、神奈川朝鮮中高級学校民族管弦楽部、ドウオ パオン デ ケージョ、マチュピチュ、横浜中華学校校友会国術団（獅子舞）、Nioun（ニュン）



4 フォーラムプログラム

フォーラムプログラムでは、来場者が新しい出会い、新しい気づきができるよう様々な企画を用意いたしました。複数の国籍、幅広い年代のパネリストと共に、人とのつながりや多文化共生社会を考えるフォーラム等を実施しました。

【外国籍県民フォーラム 『これからの絆』

～Understanding Your Friends More Deeply 一人一人を見てみよう！～】

人と人の繋がりが生み出すパワーは、どのように社会を変えていくのか。生まれ育った地域・国籍は異なっても、友情を育み、絆を深めた4組のペアが登場し、互いを認め合った経緯、エピソード

ドを語りました。(詳細はP21)

■日 時：17日(土) 13:30～16:30 ■場 所：プラザホール

■来場者数：172人

■ファシリテーター：吉富 志津代（大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授）

■パネリスト/テーマ

- ① 金 泰崇（コリア）、大野 良子（日本）「Korea×Japan かながわユースフェスタを共につくって」
- ② 江藤 セデカ、M. Farouq Asefi（アフガニスタン）「異国で培った、同胞との友情」
- ③ Angie Tong(カナダ)、岸 奈津実（日本）「海を越えた幼なじみ」
- ④ 裴 安（コリア）、水田 秀子（日本）「行政と市民の垣根を越えて」

■講 演：吉富 志津代「私たちの『まち』で、私たちは次の世代に何を伝えるのか？」



【人はなぜ歌い、踊るのか…中国55少数民族を訪ねて】

中国55の少数民族の村々を訪ねた音楽・映像プロデューサー&ライターの市川捷護氏を迎え、人の幸せ、豊かさ、文化の多様性について考えました。また、映像「天地楽舞」を上映しました。

■日時：17日(土) 14:00～15:30 ■場所：映像ホール ■来場者数：116人

【監督トーク 夢をかける第2回リキシャレースを終えて】

「第2回リキシャレースの短編」。セシリア 亜美 北島監督とバングラデシュ出身のプロデューサー・ロッキー氏による解説と併設イベントのアート展の様態を解説しました。

■日時：18日(日) 10:30～12:00

■場所：映像ホール ■来場者数：28人

【シネマコレクション 映画『ハーフ』映画上映とゲストトーク】

ハーフの女性監督2人による、ハーフたちの本音に迫ったドキュメンタリー映画。出演者の矢野デイビットさんのトークイベントも実施。(監督：西倉 めぐみ、高木 ララ /2013年/日本/87分)

■日時：18日(日)13:30～15:30 ■場所：映像ホール

■来場者数：140人



5 交流・展示プログラム（於：リリスギャラリー/リリス会議室）

神奈川県と友好都市の紹介、世界各国の様々な楽器の展示や民族衣装の試着などを通して、世界と神奈川とのつながりや、色々な民族や文化を知ることができる企画を実施しました。今回は「交流と展示ワールド～かながわから世界へ！」をテーマに、より人との交流を重視した企画も用意しました。

【世界とカナガワのつながり】

神奈川県と世界のつながりについて、展示・紹介。アジア友好交流地域（中国遼寧省・韓国京畿道）から来県中の職員や留学生による自国紹介展示を実施しました。



【神奈川と世界の架け橋 JICA 横浜】

JICA事業を通じた地元神奈川の市民や団体の活動を紹介しました。



【外国籍県民かながわ会議ってななに】

外国籍県民かながわ会議の提言内容をイラスト付きで分かりやすく紹介しました。



【外国人学校のこどもたちの絵画展「本の世界」】

神奈川県内の外国人学校に通っているこどもたちが描いた、本や読書に関する絵を展示や学校紹介を行いました。

- 出展校：サンモールインターナショナルスクール、東京横浜独逸学園、横浜朝鮮初級学校、神奈川県朝鮮中高級学校、横浜山手中華学校、横浜中華学院、ホライゾンインターナショナルスクール、エスコーラ・アクアレラ・ブラジル、ブリティッシュ・インターナショナルスクール
- 学校紹介：ブリティッシュ・インターナショナルスクール、ホライゾンインターナショナルスクール、横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、南武朝鮮初級学校



【世界のことばで話してみよう！】

クイズや遊びを通して様々な言語を学び、話す体験。授業は1回15分、日本語の授業も実施しました。

■講師：愛澤 孝一 ジョゼー（ポルトガル語）、岩松 寿（スペイン語）、紀 仁（ベトナム語）、栗田 モニカ（スペイン語）、高橋 メラニー（タガログ語）チェ ヒョンギル（日本語）、張 志宏（中国語）、中村 ノーマン（英語）、堀口 妙香（カンボジア語）



【民族楽器に触れてみよう・民族衣装を着て撮影会】

世界の民族楽器を多数展示。フェスタご来場の思い出に、民族衣装を着て記念撮影も行いました。



【地球一周の船旅】

NGO ピースボートの「ヒバクシャ地球一周の船旅」より映像、文字、音楽で世界の情景を紹介。80分、1日3回上映しました。



【世界の絵はがき】

世界各地の風景、人物など、多文化共生の視点で広い世界を感じることができる展示しました。



【日本とパラオ～歴史を越えた友情】

今年独立 20 周年を迎えたパラオ共和国。戦前、戦後の写真を展示し、両国の絆を伝えました。



【クイズラリー】

あーすぷらざを回ってクイズに答えます。ゴールした人には景品を贈呈しました。

■場 所：アトリウムからスタート！あーすぷらざ全館で実施しました。



6 世界屋台村 (17日(土)、18日(日) 11:00~16:00、池の周辺)

27 店の出店があり、世界各地のエスニック料理を多くの人が楽しみました。今年も環境に配慮したリサイクル容器を利用しました。

○リサイクル協力：社会福祉法人 同愛会 リサイクルセンター リプラス

	店名	主なメニュー
1	ASIA SIAM FOOD アジア サイアム フード	○パッタイ ○カパオライス
2	アジア料理の会	○タイカレー ○ガパオガイ
3	ISGAHE PORKHORI	○串ケバブ ○ソーセージ
4	インドネシア人家族の会	○ナシ・ゴレン ○オポロ・アヤム
5	エスクエラ・デ・エスパニョール	○チョリソ ○チキンソテー
6	大船チャンプル	○沖縄そば ○オリオンビール
7	特定非営利活動法人 カンボジアの教育を支える会	○Moi Pi麺(モイピー麺) ○烏龍茶
8	クメールボランティア協会	○カンボジアラーメン ○焼きトウモロコシ
9	クントウル ラテンアメリカ カルチャー プラン	○タコス ○ビーフタコス
10	在日大韓民国婦人会 神奈川県湘南西支部	○ホットク ○トッポッキ
11	在日本朝鮮青年同盟 湘南西湘支部	○プルコギ丼 ○チヂミ
12	特定非営利活動法人 在日本ラオス協会	○カオプーン (ラオスそうめん) ○クワミー (ラオスやきそば)
13	JUMPA(ジュンパ)横浜 NPO 国際交流会	○ナシゴレン ○ミゴレン
14	スタンディングケバブ トニー食品	○ドネルケバブ ○シシケバブ
15	青年海外協力隊神奈川県 OB 会(KOCV)	○ナチョス ○コーヒー
16	株式会社 タヒチプロモーション	○ヒナノビール
17	特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	○タイラーメン
18	特定非営利活動法人 地球の木	○ちぢみ

	店名	主なメニュー
19	バオパブの会	○マフェ ○ヤッサ
20	HAYA-HAY	○カレー(ナン付き) ○マンゴージュース
21	ブラジル移民支援グループイン神奈川	○ブラジルパステル ○ブラジルソーセージ
22	本場ペルシャ料理 クーチェ	○シシカバブ ○ジェジェカバブ
23	株式会社 メルヘン	○やきそば ○クレープ(アメリカンタイプ)
24	横浜コンスタンツァ友好委員会	○ルーマニアワイン (ボトル・グラス)
25	ラテン文化センター	○パエリア ○カルツォネ
26	RYUTA-COS KITCHEN リュウタコスキッチン	○ファフィータ ○メキシカンバーベキュー
27	ワルンスレラ	○アヤムパンガンライス ○ミーゴレン(目玉焼き付き)

7 ワールドバザール

(17日(土)、18日(日) 10:00~16:00 アプローチ・デッキ)

31店の出店があり、NGOや民族グループが、それぞれの活動をアピールしながら、世界の民芸品、工芸品、民族音楽CDなどを販売しました。

	店名	販売・展示物品
1	アジアの女性と子どもネットワーク	○AWC 紹介パネル ○ストリートチルドレン保護施設の子どもたちが作ったアクセサリ等 ○山岳民族の村の女性たちが織ったブックカバーほか
2	ANAN'S キッチン	○女川カレー○カレー粉 ○オリジナルスパイス
3	アマゾンカムカム・ヨコハマ	○カムカムジュース・キャンディ、健康茶等 ○ペルーの衣料や民芸品 ○多文化の民芸品や装飾品
4	あめ細工	○手作り あめ細工
5	アンデス・アルテ	○オカリナ○民族楽器○ひょうたん細工 ○手刺繍・アップリケの子供服ほか
6	アンデス音楽グループ MACHUPICCHU	○民族楽器(ケーナ、オカリナ) ○民芸品(バッグ、しきもの) ○民族音楽CD
7	特定非営利活動法人 イーグル・アフガン復興協会	○音楽CD○アフガニスタン紹介文 ○民話 ○子供の写真○本
8	印度支那倶楽部	○アジア山岳少数民族の生活道具衣料 ○手織絹・手織綿○タイ・OTOP 製品
9	合資会社オフィス五タラント	○マンゴーはちみつ マラウイハニー
10	神奈川県ユニセフ協会	○ユニセフ活動報告パネル(写真) ○広報資料配布

	店名	販売・展示物品
11	カンボジア母国語を保証する会	○カンボジア民芸品 ○カンボジア現地で作ったシルク、スカーフ、カバン、財布、ミサンガ○ 貧困センターが作った民芸品
12	国連ウィメン日本協会よこはま	○スカーフ類・洋服○バッグ類○アクセサリー類○小物類○紅茶、塩
13	コポトッコ・バングラデシュ	○洪水被災地女性たちの手作り品 ○バングラデシュの文化を紹介できる商品
14	特定非営利活動法人 JUNKO Association	○雑貨・食雑貨類
15	シンチャオ	○手作り民芸品(ビーズ・キーホルダー・マスク・刺しゅうバッグなど)
16	スリランカ雑貨のラクリヤ	○サリー雑貨○コットン製品○キッチン雑貨○スリランカカレーキット○ 紅茶・スパイスティー・バスケット○ ポストカード.
17	ソーブカービング体験教室	○ソーブカービング体験教室 (¥300、つくった作品は持ち帰り可)
18	特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	○タイ草木染めフェアトレード品○ビーズフェアトレード品
19	特定非営利活動法人 地球の木	○シルクスカーフ、シルクの小物 ○手刺繍の小物
20	チニーズ	○スパイス○菓子○レトルトなど食品
21	チーム ピース チャレンジャー 大和支部	○ミサンガ、ストラップ、ネックレス ○バングラデシュTシャツ○コーヒーほか
22	バオバブの会	○アフリカンプリント布バッグ、ポーチ○アフリカ関連絵本、児童書○ ジェンベ
23	ババ・アフリカ	○絵画○アートフレーム○アクセサリー○衣服

	店名	販売・展示物品
24	パリパール	○衣類・アクセサリー・バッグ・置きもの・布・リボンなど
25	HAYA-HAY	○フィリピン・ネグロス島 小麦粉袋とそのプロダクツ○世界各地の種の装飾品
26	特定非営利活動法人 ビラーンの医療と自立を支える会	○活動展示○糸芭蕉(アバカ)の繊維を草木染め・手織りしたティナラク織、ナバルタビ織とその縫製品 ほか
27	特定非営利活動法人 ふれんどしっぷ ASIA	○フィリピン・タイ支援先の手作り雑貨○自然栽培コーヒー○スンカボード(フィリピンのボードゲーム)
28	ヘナボディアート MEW	○ヘナボディアートの体験 500円～○ヘナアート雑貨、ミサンガの販売
29	BorDer Japan	○ケランボード体験(※一部販売) ○ルンギー(バングラ製の布)販売
30	LUVENTO	○ウエアを中心とする布関係商品 ○ハンドメイドのバッグ類○天然素材のテーブルウエア○木製の人形・雑貨など
31	L OS ANDES(エクアドル)	○衣料品○装身具○バッグ類 ほか

あーすフェスタ 2014 外国籍県民フォーラム



今年の外国籍県民フォーラムには、生まれ育った地域・国籍は異なっても、友情を育み、絆を深めた 4 組のペアが登場。20 のテーブルに分かれた参加者を交え、日本における多文化共生、これからの未来について共に考え、話し合いました。また、神戸から迎えたゲストの吉富志津代さんに、人と人の繋がりが生み出すパワーが、どのように社会を変えていくかを語っていただきました。

■日時：2014 年 5 月 17 日(土曜日)

13:30～16:50

■会場：神奈川県立地球市民かながわプラザ
(あーすぷらざ) 2 階 プラザホール

■テーマ：

これからの絆～Understanding Your Friends
More Deeply 一人一人を見てみよう！～

■来場者数：172 名

【司会】黄帥烈(コリア)、加藤佳代(日本)

【開会挨拶】中村ノーマン(カナダ)

あーすフェスタかながわ 2014 企画委員会企画委員長

【第 1 セッション】

「Korea×Japan かながわユースフェスタを共ににつくって」

金泰崇(コリア)、大野良子(日本)

「異国で培った、同胞との友情」

江藤セデカ、M. Farouq Asefi (アフガニスタン)

【第 2 セッション】

「海を越えた幼なじみ」

Angie Tong(カナダ)、岸奈津実(日本)

「行政と市民の垣根を越えて」

裴安(コリア)、水田秀子(日本)

【講演】吉富志津代(日本)

大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授

「私たちの『まち』で、私たちは次の世代に何を伝えるのか？」

【開会挨拶】

加藤：司会の加藤佳代です。あーすフェスタの企画委員をするのは今年で7回目になります。

黄：同じく司会の黄帥烈（ファン スリョル）です。在日コリアン 3 世です。企画委員としては7回目です。在日本朝鮮青年同盟の専属職員をしています。よろしくお願い致します。

加藤：今日は、神戸から吉富志津代さんにゲストとしておいで頂いています。ディスカッションの後に、講演して頂きます。

では、開会の挨拶を、あーすフェスタかながわ 2014 の企画委員長、中村ノーマンさんをお願い致します。

中村：Thank you very much for coming.

みなさん、こんにちは。ただ今ご紹介頂きました、カナダ国籍のノーマン ナカムラです。今日は、このフォーラムに皆さん来て下さり、ありがとうございます。ここに来たという事は、多文化共生に何か興味があるのだろうと思います。



今日は、このフォーラムと多文化共生の関係について少しお話をさせて頂きます。まず、多文化共生ですけれど、神奈川県には約16万人の外国籍の方たち、国にすると150を超える人たちが住んでいます。でも、それだけではないのです。日本国籍を持っていて外国にルーツがある人たちがいます。日本の文化とは違った人たちが神奈川県にはたくさんいます。

今日のフェスタはすごく楽しい場所だと思います。美味しい料理があって、綺麗な服を見て、素敵な人たちに会えるだろうと思います。でも、それで多文化共生だと言えるのでしょうか。いや、そうではないです。お互いに、文化を認めていくことが必要だと思います。

お互いに文化を理解し、認めていくためには、対等な関係が必要となります。それは、自分の声が相手の心に届き、相手と共に新しい道が探せるという事です。しかし、その声を遮る 3 つの壁があると私は思っています。1 つ目は、言葉の壁。日本は、日本語でないと、なか

か通じない。だから、すごく不便です。2 つ目は、心の壁。これは、何かの場面で思い込みが生じて、ああいう人たちには関わらない方がよいという事が、いつの間にか心の壁になることがあります。3 つ目は、制度の壁です。例えば、私は、外国にルーツを持つ子どもたちの支援をしています。日本語が出来ないと勉強がまともに出来ず、日本語で勉強が出来ないと高校にも行けないことがあります。これが制度の壁です。制度の壁はもっとたくさんあります。

では、多文化共生を実際に進めるには、どうしたらいいのでしょうか。人と向き合う事がとても大切になってきます。向き合うためには、人と心が通じ合うところまで考える事が出来る、そのような出会いが必要じゃないかと思います。

今日のフォーラムには、それぞれ背景は違っても、ある出会いをきっかけに心を通じ合わせ、その心を大きく育てた人たちが登場します。今日の話を聞いて、みなさんに、違いを乗り越えるヒントを考えてもらえたらと思います。みなさんがテーブルでのディスカッションを通して、より深く理解し、今日から変わることになったら良いと思っています。

大変長くなりましたが、今日のフォーラムを最後まで楽しんでいて下さい。ありがとうございました。



加藤：ありがとうございました。私たちも、人と向き合い、考え、理解し合うために、このフォーラムを企画しました。では、進め方について、黄さんから説明します。

黄：企画委員長から外国籍県民フォーラムの趣旨について話がありましたが、あーすフェスタのテーマは「みんなで育てる多文化共生」です。多文化共生社会をいかに

実現していくかを、ここにいらっしゃる皆さんと一緒に考え、一緒に話そうというのが、この外国籍県民フォーラムです。

流れについて簡単に申し上げます。生まれ育った地域や環境が異なったパネリスト2人が前に出て、友情を育み、絆を深め合ってきたエピソードを語ります。その後、パネリストから、会場に向けて質問を投げかけます。その質問に沿って、各テーブルでテーブルセッションし、意見交換をしてください。テーブルセッションがいかに行われたか、各テーブルの代表者1名に発表して頂きます。各テーブルで発表する人を決めてください。時間の都合上、すべてのテーブルに発表していただくことは難しいため、ランダムにテーブルごとの発表をして頂きます。ご協力をお願いします。

ではまず、アイスブレイクです。テーブルに座っている皆さんはお互い初顔合わせで、まだ緊張している状態なので、それをほぐし、より話しやすい雰囲気を作りたいと思います。まずお名前を言って、その後、今日のランチの感想を言ってください。順番は右側の手前の方からです。それでは、どうぞ。



(アイスブレイク)

[第1セッション①]

Korea×Japan かながわユースフェスタを共に作って

加藤：最初のパネリストは、金泰崇（キム テスン）さんと、大野良子さんです。

金泰崇さんは、横浜市生まれの在日朝鮮人 3 世。小・中・高の 12 年間に朝鮮学校で学んだ後、明治学院大学国際学部へ入学。2012 年 4 月から在日本朝鮮留学生同盟（留学同）中央本部で指導員を経て、2013 年 4 月から在日本朝鮮留学生同盟神奈川県本部副委員長として、現在、活躍されています。神奈川県内の日本の大学、専門学校に通う、在日コリアン学生の民族的アイデンティティを育むために、様々な活動を行っています。

大野良子さんは、愛知県出身の 19 歳。現在は横浜市立大学に在学中です。大学での講義をきっかけに朝鮮学校に興味を持ち、現在、在日コリアンとの交流を進んでいき、多文化共生にも積極的に参加をしています。

お二人の話のテーマは「ユースフェスタ～神奈川で築く Korea と Japan の明るい未来」です。

金：ただ今、ご紹介に預かりました金泰崇と申します。今日は 1 日よろしくお願い致します。

大野：大野良子といます。よろしくお願いします。

金：2 人がどうして出会ったのかというところから話を進めていきたいと思います。大野さんとの出会いは昨年 7 月です。一昨年から、神奈川で「Korea×Japan かながわユースフェスタ」というイベントがおこなわれており、私は、昨年から神奈川県に赴任しまして、昨年 11 月に山下公園でユースフェスタをおこないました。その宣伝の一環で、昨年 7 月に横浜市立大学で授業をした際に大野さんに出会いました。

大野：私は、東北朝鮮学校の先生が授業のゲストスピーカーとして来て話して下さった時、初めて朝鮮学校を知り、興味を持ちました。でも、やはり直接行かないと分からないことが多いと思ったので、一度行くことにしました。その時、自分の中の悪いイメージが崩れ、在日コリアンの方たちをもっと知りたい、もっと交流を深めたいと思うようになりました。そのような時に、泰崇さんからのお話があ

ったので、積極的に話を聞きに行きました。

金：私は2年前までは大学生だったのですが、自己紹介しても、周りはあまり在日朝鮮人という存在を知らず、「日本語うまいですね」とか、「いつ日本に来られたんですか」と、ある意味無神経な質問をされました。「やはり在日朝鮮人の存在を知らないのだな」と思うようになりました。

昨年、横浜市立大学に行った時も、きっと同じような質問をされるのだらうなと思っていました。しかし、大野さんから、「東北の朝鮮学校に行って、在日の人々について興味があります」と言われて、頭を後ろから殴られたようなすごい衝撃を受けました。こんな大学生がいるのだなと思って、「是非、ユースフェスタの実行委員会にも来て下さい」と案内しました。そして、その次の実行委員会に大野さんが来てくれて、そこから色々話をするようになりました。

大野：私は今まで、在日コリアンは、韓国から働きに来た人や、韓国語しか話せない人というイメージがありましたが、泰崇さんを始め、在日コリアンと話をする中で在日コリアンについて、より知るようになりましたし、自分の中で遠い存在だった在日コリアンがとても身近に感じられるようになりました。また多様であることにも気づきました。

金：私も、日本人の大学生と身近に関わる機会はそれほどありませんでした。大野さん以外にもたくさんの日本人学生と出会う中で、彼・彼女らの興味関心を知ることができました。それを通じて、大野さんを「一人の大学生」という見方から、仲間として、親友として考えるようになっていきました。

ユースフェスタで特徴的だったのが、フェスタを作る過程で大学生の実行委員が非常に多くいたことです。コリアとジャパンの学生たちが、何かお互いのために出来ることがあるんじゃないかと。例えば朝鮮学校の見学や互いの交流の場であったりとか、そういった事も出来るのではと考えて、昨年「Korea×Japan かながわユースネット」という、サークルみたいなものを立ち上げました。今でも月に1回のイベントをやっています。昨年、横浜市立大学で、北海道の朝鮮学校を舞台にした「ウリハッキョ」とい

うドキュメンタリー映画の上映会を大野さんたちと協力して行いました。

大野：この時は、大学の教授も何人が協力してくれました。一般の方々にも来て頂いて、会場は満席になりました。本当の朝鮮学校の姿を知ってもらえて嬉しかったと同時に、もっと長期的かつ継続的な交流が必要だと強く思いました。

金：もう1つ印象に残っている出来事として、今年の3月9日に、東京で在日コリアン学生が朝鮮学校の差別に反対する全国集会がありました。この集会に250人ほどの人たちが参加しました。その企画の中で大学生による演劇をやることになりました。主に、在日本朝鮮留学生同盟の在日コリアン学生が出演したのですが、是非大野さんにも演劇に出てもらいたいと思いオファーしました。

大野：最初はただ面白そうだなと思ったのですが、やはり中身を知っていくにつれて、在日コリアン学生のなかで日本の学生として、日本と朝鮮をテーマにした演劇をすることがとても不安になってきました。それを泰崇さんに相談したら、ただ一方的に出る出ると言う訳ではなくて、私の立場も考えて相談にのってくれました。

金：夜に電話がかかってきて、「演劇の内容が難しいです」と聞いて、最初はびっくりしたんですが、自分も思着せがましいことをやってしまったかなと思いながらも、もし自分が大野さんの立場だったらどうかと考えながら、電話で30分位話をしました。演劇の内容も、朝鮮が解放された直後の朝鮮学校にまつわるものだったので、ちょっと難しいこともありました。話を聞いていくうちに、別の方法として、神奈川での映画上映会などの今までの取り組みの報告をしてもらうことになりました。それをきっかけに思ったのですが、相手の立場になって考える、これがやはり一番重要ではないかと思います。もちろん主観的な立場から物事を考える事もありますが、相手の立場になって考える、つまり客観的な立場で物事を考える事が、お互いの距離を縮める一番大切なことではないかと思っています。

大野さんと月に3回ほど会って、互いを知る努力を惜しまなかったことも、大事な点だと思います。自分と大野さ

んは、国籍も年齢も出身地も職業も全然違いますが、会って話をしていくうちに、多文化共生というか、しっかりと絆を深めることが出来たと思います。

大野：自分中で起きた変化ですが、SNS（ソーシャルネットワークサービス）などで「在日」と検索すると、悪い情報しか出てこないじゃないですか。でも実際に泰崇さんやユースフェスタの実行委員の友達と会ってたくさん話したことで、在日コリアンの本当の姿を知ることが出来ました。それ以来、ネットだけの情報ではなくて、自分の足を動かして人に会って話す事を怠らないようにしています。

金：私は、生まれも育ちも神奈川県なので、地元で何か貢献できたらいいなと考えていました。「Korea×Japan かながわユースフェスタ」を開催したり、大野さんを始めた大学生に出会ったり、そういう過程を通じて、地元がもっと好きになりました。大野さんを始めた親友たちに会えたことはとても嬉しかったですし、そういう場を作ってくれた「Korea×Japan かながわユースフェスタ」に感謝しています。今年も、ユースフェスタを開催することが決まっています。これからもお互いを知る努力を惜しまずに、もっと近づけていけたらと思っています。

私たちが、会場の皆さんへ質問したいのは、「お互いの国がどんな状況下にあっても、本当の意味での『多文化共生』は出来ると思いますか？」ということです。

お互いの国というのは、私は韓国で大野さんは日本です。今は日本と朝鮮半島をめぐる関係は非常に複雑です。例えば韓国ですと、領有権の問題や慰安婦の問題や歴史認識の問題で非常にギクシャクしています。一方で、朝鮮民主主義人民共和国とは未だに国交もないですし、朝鮮学校の補助金の問題とか、「朝鮮人は日本から出ていけ」といった趣旨のヘイトスピーチも路上でなされています。民間でも国家間でも非常に環境が悪い中ですが、どんな状況下にあってもお互いの国の人たちで、多文化共生が実現できるのかどうかを、皆さんに考えて頂けたらと思います。



（テーブルセッション 5 分間）

会場（3 番テーブル）：高校生です。私は出来ると思います。どんなことがあっても、同じ「人」ならきつてできると思います。確かに、教育などは全然違ったりすると思うのですが、やっぱり心から伝えることが大事だと思います。

会場（10 番テーブル）：大学生です。お互いをどのくらい知っているかによって、多文化共生は出来るか出来ないかに分かれると思います。出来るようにするためには、まず、このあーすフェスタのようなイベントの情報を、もっとたくさんの人に知ってもらう事が必要だと思います。私も、今回初めて参加したのですが、私の友達でも、あーすフェスタを知らない人がいっぱいいます。インターネットなどを活用して情報を発信していく事が大事だと思います。

会場（6 番テーブル）：個人のレベルでは可能だと思います。ただ、多文化共生は、個人レベルで仲良くなったから実現しているかというと、そうではないと思います。社会の状況が、多文化共生のもとで、どんな立場の人の人権も重んじられるような法制度も含めて、いろんな面で実現されていないと、多文化共生の実現とは言えない

と思います。社会の在り様が、お互いの国の状況によって左右されるのであれば、かなりの努力をしないと、そう簡単には実現しないのではと思います。

吉富：国と国との関係ということですが、やはり国の意思というのは、その住む人の意見が集約されていないといけないと思います。最後の人がおっしゃったように、それが非常に難しいというのは私も良く分かるのですが、例えば大野さんのように、個人の興味から始まったその興味が、一歩踏み出すことで「体験」になり、それが「実感」を伴い、それが「だから…」という「共感」にまで育っていく。そして、その共感から、「じゃあ、一緒にこれをしよう」という「実行」が生まれる。多分、そういう実行がたくさん生まれて、色んな制度や社会の在り方が少し変わると思うんです。

そうしたことが国の意思として、国と国との関係にも反映されるべきだと私は思いますし、もちろんそこには、しっかりとした歴史教育など難しい話もあると思うのですが、一人の人の興味が、もしかしたら社会を変えるかもしれないという可能性を示してくれているように私は感じました。時間はかかっても、一人一人の意識を変えることで、多文化共生社会は実現できるのではないかと思います。

【第1セッション②】

異国で培った、同胞との友情



加藤：次のパネリストは、江藤セデカさんと、M. Farouq Asefi（ファルク アーセフィ）さんです。

アーセフィさんは、アフガニスタン出身。現在、日本・アフガニスタン協会の理事をされています。1977 年留学の

ために来日されました。その 6 ヶ月後に祖国で 4 月革命が勃発。大学院卒業後も日本に留まり、法廷通訳や法律関係の翻訳に従事されました。第 1 回アフガニスタン復興支援国際会議が東京で行われた際、カルザイ大統領の通訳も務められました。現在は、アフガニスタンの現状を知らせる報道番組のコーディネーター、JICA、研修管理権通訳としてもご活躍中です。

江藤セデカさんも、アフガニスタンのご出身です。1983 年に来日されて、1988 年には日本国籍を取得。アフガニスタン復興支援のための NPO を創設され、現在は NPO イーグル・アフガン復興協会理事長、特定非営利活動法人ユーラシアンクラブの理事長もされています。

お二人の話のテーマは「異国で培った同胞との友情」です。この回は私から質問を投げかけ、それに答えて頂く形で進めます。お二人は、アフガニスタンにいた時からお知り合いだったのでしょうか？それとも、日本にいらしてから知り合われたのでしょうか？

セデカ：日本に来て初めてアフガニスタン人を知ったのは 30 年前のアフガニスタンのお正月にあたる 3 月 21 日でした。それまでなかなか自国の人と会う機会がありませんでした。たまたま、あるアフガニスタン人の友人の家に呼ばれた時、「周りにアフガニスタンの友人が全然いない」と言ったら、その人から何度も何度も「家に来てほしい」と電話をもらいました。友達のところが茨城で、行ったらファルクさんがちょうど家を出るところで、その時に会いました。その時からのお付き合いです。

アーセフィ：みんなの前で、セデカさんと一緒に、こうして話すのは今日が初めてです。色々な国際会議の時ぐらい緊張します。出会ったのは、もう少し若い時でした。今はアフガニスタンの事をニュースなどで知ることが出来ますが、当時はまだ冷戦の関係で、非常に緊張している中で、革命が行われました。我々が一番心配したのは情報と家族についてでした。当時のアフガニスタンは電話など普及していない状況でした。学生時代は学生運動など盛んでした。アフガニスタンは多民族国家でしたから、非常に民族問題が厳しい時代もありました。

セデカさんと私はお互い教育も受けていますし、良く分

かる部分もありますが、よく女性が海外に来て結婚をしたなと驚きました。それから今日まで 2 人の仲が続いています。

加藤：お 2 人が、互いの存在を認め合うようになった経緯をお聞かせください。

セデカ：アーセフィさんと会った時に、「『笑っていいとも』に初めて出る」と言われて、すごいと思いました。あとで近所の人から、「今日の『笑っていいとも』にアフガニスタンの人が出たよ」と聞きました。見ればよかったです。

彼はアフガニスタンから日本に来て、一生懸命、勉強をしました。日本について色んなことを聞くと、ものすごく良く教えてくれました。当時、私は日本語も全然分らなかったもので、言ってくれたことは全部その通りにしました。その時信頼できた人は今でも信頼しています。もちろんケンカもあります。でもそのケンカは、友情が終わるという事ではない。互いに自分の意見を言って解決してきたから、今に繋がっていると思います。

アーセフィ：今まで、セデカさんからそんなことを言われたことは一度もなかったような気がします。

言葉の壁というのがあって、本当は私たちも違う民族なんです。きっと日本の皆さんにとってはあまり馴染みのない話だと思いますが、でも、先ほども話がありましたが、互いに色んな話をして、壁みたいなものを乗り越えてきたと思います。男尊女卑みたいな考え方が日本にもあるようですが、個人の「信じる」という決断が大切だと思います。どういう意識を持って、それを改革していくかが大事なのです。

イスラム社会の宗教的な面もあって、女性のおこないに対して制限があるかもしれませんが、日本の中で活動して、互いを尊敬しあう事で、一層、関係が密になったと思います。

加藤：関係を深める中で大事にしてきたこと、互いへの信頼や尊敬について話して頂きました。男尊女卑の意識の強い国であっても、「この人になら話せる」、「信頼できる」という思いを持てた事が大きかったと思います。

友情を育む中で、それぞれのご自身の中で起きた変化があれば、それを教えてください。

セデカ：アーセフィさんが日本で頑張っていることは大きか

ったです。私は女性で、アフガニスタン女性が独身の男性と親しくなるのはありえないことです。もし、独身の女性が、独身の男性と仲良くなったら、ものすごく社会から迫害を受けます。友人の中にも、言いたくても勇気を持って言えない人たちがいます。私は今でもアフガニスタン社会で闘っています。

アーセフィ：一言付け加えると、社会の中では色んな利害関係があると思います。それを取っ払って前に進むことは大切だと思います。個人にはもちろん表現の自由があるので、お互いを理解しあって分かち合う、それがあって、また新たな関係が生まれると思います。

加藤：お 2 人は民族の壁、男女の壁を越えて、30 年間、友情を育んでいらしたのですね。

では、お二人から会場の皆さんへ質問です。質問は「日本はこれから多民族の社会へと変わろうとしています。皆さんはこれからの日本が近隣諸国とどうかかわっていくべきだと考えますか。」です。

(テーブルセッション 5 分間)

会場 (19 番テーブル)：多民族社会であることと、近隣諸国との関わりという 2 つのテーマがあると思いました。日本に生きている多民族の人と、どう関わるかという話で、自分は日常的に仕事でそういう人と関わっても、地域や日常に目を向ける感覚で、国家間とかではなく、個人レベルでの関わり方が多かったのも、改めて考えると非常に難しい質問だと感じました。

会場 (7 番テーブル)：意見がまとまりませんでした。一緒のテーブルの方は、4 ケ国にルーツがあるという事でしたが、多文化に関するこのような質問を、意識的に考えた事はあまりないという事でした。他の方たちもそれぞれ立場が違ったので、テーブルセッションでは、それを共有しました。

会場 (1 番テーブル)：すごく大きな質問で、意見がまとまった訳ではありませんが、こういう方法で行くしかないのでは、という事で 2 点あります。1 つは、絶対に武力を使わない関係。2 つ目は、次世代にとって、より良い関係になるような付き合い方をするということです。今、戦

後 70 年経ちましたが、色々な問題がありますよね。5 年後、10 年後には、その中の 1 つ 2 つでも解決して、若い子たちが、より住みやすいような関係を作っていくべきだということです。色々な問題がありますが、やはり専門家が集まって議論をしていく場が必要。国と国とが個人的に騒ぐのではなくて、専門家が真摯にお互いの歴史を共有し合って話し合いを進めていくのが原則ではないかと話がまとまりました。

吉富：大変難しい質問だと思いました。先程のご意見のように、私たち専門家や様々な立場の人が話し合いをしていかなければならないと思うのですが、アーセフィさんたちが、「日本がこれから多民族社会に変わる中で」という表現をされて、「どう関わっていくべきか」と質問された意味は、「日本の中でいろんな国の出身の人がいる中で、自分がどう関わるか」というようにとらえたので、それで答えさせていただきます。

国と国との意識は、そこからかけ離れていってはいけなないと先ほどお話しましたが、例えば私とセデカさんが親しくしていたら、もしもお互いの国が大変なことになった時、「これは放っておけないし、何とかしなきゃ」と、いろんな形で発信すると思うんです。そういうことが政治にも反映されるべきだし、そういう意味で、私たちは身近にいる人たちと、どういう関係を築いていくのか、その意識が全体に反映されていくのではないかと思います。

お二人の関係についてコメントさせて頂くと、お二人とも日本の中でマイノリティとして暮らしていっちゃった。そのマイノリティの中で、もちろん民族や環境が違っていたとしても、大きな社会の中でマイノリティとして、同じ国、同じ言語の人と出会い、情報を共有することはものすごく重要なことだったと思います。1 人ではくじけてしまうことも、力を合わせる事は、色んな意味で大切だと思いました。こうした相乗効果によって、お二人が社会に発信してくれた。そこに可能性を感じました。



(第1セッション終了。休憩 10 分間)

【第2セッション①】

海を越えた幼なじみ

加藤：これから第2セッションに入ります。パネリストはAngie Tong（アンジー トン）さんと、岸奈津実さんです。

岸奈津実さんは今年の3月に大学を卒業し、現在はバレリーナを目指して奮闘中。今日ははるばる県外から電車を乗り継いできてくださいました。

アンジーさんは中国系カナダ人で、保育園から小学校3年まで日本で教育を受け、その後カナダへ移住。2013年の夏に13年ぶりに来日。現在は市役所で国際交流員をしています。

お二人の話のテーマは「海を越えた幼なじみ」です。

アンジー：よろしくお願いします。私と奈津実ちゃんが出会ったのは17年前で、お互い6、7歳ぐらいの時でした。母親たちが同じ会社で勤めており、子どもが出来たことから交流が始まりました。夏休みにサマーキャンプに行くなど色々な思い出を作ってきました。今日は、その思い出について話したいと思います。若い頃、離れ離れになって、またこうして再会したことについても話したいと思います。

岸：お互いの家を行き来してパーティみたいなことをしていたのですが、一番の思い出は、アンジーちゃんのお母さんが作ってくれた中華料理でした。手際よく作る姿は今でも本当に鮮明に覚えていて、日本にもある食材で作ってくれましたが、なかでも一番は水餃子でした。私が今、餃子を好きなのはそれが影響していると思います。餃子を食べる度に思い出します。あの味に勝るものにはまだ出会っていません。

よく、匂いがその人を思い出させると言いますが、味覚にもそういうことが言えると思います。味覚によって、その時の様子を思い出したり、またあの時間を過ごしたいなと思ったりします。それが絆を生んでいる証拠になるのかなと思います。

アンジー：今日は料理の話ばかりになってしまうかもしれませんが（笑）、私も奈津実ちゃんのお父さんが作ったカレーが世界で一番ではないかと思います。カレーを作っている姿が今でも頭の中に残っています。

週末は、よく表参道の友達の家遊びに行っていました。いつも遊び終わった後に、毎回奈津実ちゃんと近くにあったお店になんとか行って、「すごくおいしいな」と記憶していました。そこではいつもエビバーガーとポテトを注文して、ポテトをガシャガシャするのが好きで、世界で一番おいしいエビバーガーがあるのはここだと10年ぐらい思っていました。

今回日本に来て、またそのお店に行ってみたくて、まだやっているのかなと、表参道の交差点を訪ねてみました。店に着いてみると、それはただのファーストキッチンでした。エビバーガーとガシャガシャするポテトを注文して食べてみましたが味は普通でした。昔、美味しいと思ったのは、ファーストキッチンのお店や品物ではなく、もしかしたら、その時過ごした時間ではなかったのかなと思いました。いつ、どこで、なにをではなく、「誰と」が重要だったのだと思います。

岸：色々な思い出を二人で共有してきたと思います。突然アンジーちゃんがカナダに行ってしまうという事で、手紙やメールのやり取りを続けていましたが、離れていても繋がっていると実感する出来事がありました。私はバレリーナを目指していますが、高校生の頃、将来について色々悩むことがあり、「バレリーナになりたい」とアンジーちゃんに言った時に、「プロのバレリーナになるというよりは、自分自身が踊っていて楽しいと思えるようなバレリーナになって下さい」という言葉をかけてくれました。自然と涙が出てきました。バレダンサーになる事に、がんじ絡みになっていて、なかなか前に進めなかった当時の私にとって、非常に励みになりました。初めて、「踊るという事を純粋に楽しもう」と思えた瞬間でした。やはり、そういうことを与えてくれた人だからこそ、これからも大事な友達として、前に進んでいきたいなと思いました。

アンジー：小学3年生の時に、私は家族と日本からカナダへ移住し、13年間ぐらい住んでいました。移った当初は言葉も全く知らなくて、すごく不安な気持ちでいっぱいでした。毎日「日本に戻りたい」と思いながら生活していました。それが徐々に変わって友達もでき、英語もできるようになりましたが、カナダにいる間に、日本をもっと好きになりました。それは、奈津実ちゃんとの一つ一つ

の思い出が頭にすごく残っていたからです。

毎年 12 月にすごく楽しみにしていたことがありました。その時期になると、毎年奈津実ちゃんからポストカードが届くんです。それを見て、「日本から来たんだ、奈津実ちゃんからのお手紙なんだ」と感じました。その一枚一枚に、「いつかまたお互いどこかで会いましょう」という事を書いていました。自分の中では、「いつかまたどこかで会える」と思っていました。なぜなら、奈津実ちゃんとなら、また会いたいと思っていたし、会えるという自信もずっと持っていました。

岸：本当に久しぶりに会ったという感じがしませんでした。何か大きくなってるなと思ったんですが、子供の頃に話せなかった話をしたり、流行のパンケーキのお店に行ったり、そういう時間がすごく楽しかったです。

アンジー：パンケーキ屋さんに行く時、駅で待ち合わせをしたんですが、「こんなに人がいっぱいいて、お互いを分かるのかな」と思いましたが、改札口から出てきた時、奈津実ちゃんだとすぐに分かりました。

岸：小さい頃に出会ったのも、関係ができた理由かなと思います。子どもならではの無邪気さや、先入観の無さは、なかなか大人になったら出来ないじゃないですか。子供時代に出来た友達、やはり非常に大事なんだとすごく実感しました。大人になると、人との関わりが減ったりします。社会に出て、負う責任も大きくなって、背負わなければならないことも増えます。そういう時に、昔を思い出して、友達と過ごした日々を思い返し懐かしむことも重要ではないかと思います。互いの成長を確かめ合いながら、人は成長するのではと思います。そこに絆が生まれると思います。過去の絆が、私たちを繋ぎ、未来の絆を築き上げていると思います。

アンジー：奈津実ちゃんの言った通り、過去の絆が繋がっていると思います。日本で過ごした幼少時代が、今の自分にも大きな影響を与えていて、奈津実ちゃんとの一つ一つの思い出が、今の自分と大きく繋がっている、大人になってから改めて思うようになりました。日本に着いてから、奈津実ちゃんとまた会って、すごくホッとした気持ちになりました。そう考えると、温かい思い出が残っているから、「そこに戻りたい」という気持ちや、誰かに会い

たいとか、その土地に対して興味を持つ事があると思います。

大切な友達と、昔、たくさんの思い出を作ったように、今後またたくさんの思い出を作りたいと強く思います。13 年ぶりでしたが、改めてまたこれからの絆を作ることを楽しみにしていますし、嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

会場の皆さんに聞いてみたい質問は、「誰かを知りたいと思った瞬間、または誰かに興味を持ち始めた瞬間とはどういう時ですか？お互いの積極的な関係を続けるために何を大切にしていますか？」です。



(テーブルセッション 5 分間)

会場（9 番テーブル）：こんにちは。私は人見知りなんです。だから一生懸命頑張って、人としゃべることと、それを汲んでくれる人がいると、その人のことを好きになります。その時に、単なる会話ではなくて、その人の昨日あった事や 10 年前にあったことでも行動に関わることを聞いた時に、もっと聞きたいと思います。趣味とかではなく、生き様に関わることですね。今まさに、このテーブルでは生き様を探り合っています。

会場（5 番テーブル）：誰かを知りたいと思った瞬間、または誰かに興味を持ち始めた瞬間は、「共通点があった時」「直感」「幼いころに出会う」などの意見が出ました。積極的な関係を続けるために、私は話し合いを大切にしています。もともと、私は消極的な性格でしたが、歳を重ねるごとに慣れてきました。消極的だと人間関係もう

まいかないですし、思いも相手に伝わらないので、話し合いを積極的に、大切にするようになりました。

会場（1 番テーブル）：「共通点があるから話しかけてみよう」というようになると思いますが、一方で、「違うから興味を持つ」事もあると思います。「ちょっとこの人は変わっているな」と思うと、仲良くなるかどうかは別として、気になると思います。僕は、外国につながる子どもたちと接することが多いのですが、良くも悪くも見た目が違うとか、変わってると思った時に、自然と関心に繋がることもあります。違うのであれば、そこを教えてとか、知りたいな、となる時もあります。

吉富：同質性が高いのは、安心感があるので私も良く分かりますし、逆に、全然違うという事に対して、関心を持つ、その両方があると思います。関係性を続けるための努力というのは、どちらの入り口からはいったにせよ、それぞれが違った時に、お互い、合わせたふりをするのはやめようとか、それを言う事で、関係性が深まる。出身やルーツ、民族、国籍などに関係なく、そこに住んでいる人の中で、いろんな関係が出来て、いろんな経験をして、その土地が故郷になっていくと思います。

【第2セッション②】

行政と市民の垣根を越えて

加藤：最後のパネリストは、裊安（ペイアン）さんと、水田秀子さんです。

裊安さんは東京生まれの朝鮮人 2 世。外国籍県民かながわ会議第 1 期、2 期の委員を務められました。第 1 回あーすフェスタかながわ 2000 から今まで企画委員を務めていらっしゃいます。「かながわ外国人すまいサポートセンター」設立に関わり、現在、理事長をされています。医療通訳をしている「MIC かながわ」で、コリア語の通訳者もしています。現在は、国籍を越えて多くの人たちのサポートを行う「インクルージョンネットよこはま」で共同代表も務めておられます。

もうお一方の水田秀子さんをご紹介します。このあーすフェスタは 2000 年に始まりましたが、水田さんは、その第 1 回目のフェスタの企画委員長をされました。2014 年 3 月に神奈川県庁をご退職され、4 月から公益財団法人かながわ国際交流財団の専務理事をしてい

っしゃいます。県庁在籍中は、国際課で地域国際化施策、特に定住外国人支援の仕事に従事していらっしゃいました。例えば、外国籍県民かながわ会議の運営、あーすフェスタかながわの立ち上げ、そしてかながわ外国人すまいサポートセンターの設立準備などに関わっていらっしゃいました。

お二人の話のテーマは「行政と市民の垣根を越えて」です。

裊：みなさまこんにちは。裊安です。今日は水田さんとのセッションで、少し照れくさい気もしますが、この 10 数年に及ぶ関係は一体何だったのか、という事を含めて、振り返ってみたいと思います。初めて出会ったのは、外国籍県民かながわ会議でした。この会議は 1998 年に設立されましたが、私が 1 期・2 期を務めた時がきっかけでした。初めてお会いした時、「さすが神奈川県庁には女性の課長代理の方がいらっしゃる」と思いました。先ほどアフガニスタンの方もおっしゃっていましたが、在日コリアンの社会も非常に保守的な部分もありまして、なかなか女性が同じステータスに立てない事を経験してきていました。「さすが役所はすごい」と思い彼女を見つめていました。私は、人との間に国家の壁は感じませんが、実は二つ壁を感じる人たちがいました。一つは行政と、もう一つは学校の先生です。初めてお会いした時、彼女は行政の立場でお話をされていたのですが、役所らしくない話しぶりで、時間を共に過ごす度、互いの信頼関係が高まったのではないかと思います。

水田：こんにちは。水田です。今回は加藤さんから「二人ずつペアで登場して、二人が越えた壁について話してください」と言われ、「最初に会った時はいつですか？」と聞かれた時、正直思い出せませんでした。「いつだったんだろう」と思いました。15 年前の外国籍県民かながわ会議で彼女は委員で、私は事務局でした。よくあるパターンですが、みなさん、夢や希望をたくさんお持ちなので、色んなことをおっしゃるんです。それを実現するのは事務局側という事で、なかなか事務局と委員の方が協力関係を作るのは難しい。最初は本当に事務局と委員という関係だったと思います。

裊：外国人会議の中で話し合われる内容について、県

は何か成果として残さなければいけない。そういう課題があったと思うんですが、特に外国人のすまいサポートセンターを立ち上げるにあたっては、ある委員の方が、「外国籍の人たちの住居問題が大変なことになっている」とお話になり、住居問題について、「より深く知ろう」、「実態はどうなっているのか」という事で、会議の中に、研究会が立ち上がったんです。私は違うところに関わっていたのですが、彼女にその研究会に引っ張り込まれたと自覚しています。

住まいに関して議論をする中で、それまで思っていた「行政の壁」というのは私の心の中の事だったと気づきました。一緒に、いい事だけではなく、解決すべきことも含めて、話し合いをしながら、どこに希望や糸口を見つけていくかを、その時、非常に学ばせて頂きました。

行政は権力ですから、民間人からは「話に加わって下さい」となかなか言えない業界団体や他の行政関係者、民族団体や外国人支援団体、外国人自身にまで声をかけ、広く、たくさんの人を集めて話し合いを進めていきました。そういう役割、それは自然に出来た事なのか、それとも意識的になさったのか、水田さん、その辺りいかがですか？

水田：外国籍県民かながわ会議の方たちから、「外国籍の人たちにとって一番の基本である住まいを見つけるのに、日本の習慣があってなかなか借りることが出来ない」、「在日の方で60年も70年も日本に住んでおられる方でもそうだ」とお聞きして、これは何とかしなければいけないと思いました。ただ、外国籍県民かながわ会議で話し合っているだけでは解決しないので、先ほど、話が合ったように、別にプロジェクトチームを立ち上げて、関係者の方にもそこに関わって頂くという努力を致しました。一番大きいのはアパートを貸す仲介をしている業者さんで、そういう人たちの協力を得ないと、これは進まないと思ったので、外国人にも住まいを貸してくれる大家さんを見つけるシステムを作りたいとお願いして、神奈川県の実地建物の取引をする業者さんたちが、地域単位に17の支部をつくっておられるのですが、その全部の支部をお願いして協力して下さる業者さんを募りました。いくつか手が挙げて下さいました。県、横浜市、川崎市、

など行政の関係セクションにも声をかけて、協力して下さいました。1年間、何が問題で、それをどう越えていったらいいか、ということ議論しました。深く、戦略的に考えたわけではないのですが、問題を解決するためには、行政だけでは出来ない、市民だけでは出来ない、業界だけでは出来ないと考え、自然にたくさんの人を巻き込んでいくやり方になっていったのかなと思います。

表：そういう意味では、私もやり易かったというか。私自身は自分の出来る事は自らやろうと外国人会議のメンバーになったり、いろいろな会議や活動に参加していました。一方的に言っているだけで本当に何が実現できるのだらうと思いましたが、逆に水田さんは、それを受け止めて、何かを変えるための案を実現しようという行動を見ることができましこれを期に、単に言葉としてだけではなく、何かを形にして行く実感が私の中に芽生え始めました。団体を立ち上げ、システムを作っていくこと、それと同じような立場の人たちだけではなく、異なるグループに属する人たちの、たくさんつながりの中で行動して行く大切さを、身を持って学ばせて頂きました。このように、共に生きる、共に戦う、共に汗を流すという「共に」という事に、教えられることがあったのではないかと思います。もう1つ大事な、私たちの出会い、よく会うようになったきっかけは、あーすフェスタです。水田さんは最初の企画委員長を務められました。初めて務められた時の感想はどうでしたか？

水田：今、こんなにたくさんに人があーすフェスタのことを知って下さっているのは、本当に嬉しいというか、驚いています。なぜなら1回目の初日が雨だったのです。外に屋台を出すつもりが出せず、急遽、廊下の奥に出すことにしたのですが、みんな全然協力してくれなかった。事務局側は本当に泣きながら雨対応をやっていました。今日、駅前に来たら「あーすフェスタかながわ」という旗が見えて、感動してしまいました。

表：私自身、最初のあーすフェスタの時に、たくさんの人と出会えたことは大きな成果だと思っています。本当にたくさんの人たちと、あーすフェスタを通して知り合えました。たくさんの方々から学べたことが、今の私を作っていると思います。

特に私のようなコリアンの立場からいいますと、民団と総連というコリアン民族団体が、一緒に何かをすることは、それまでありえなかった。県下で一緒に民族団体と県が協力することによって、今までにない、国際交流、多文化共生というイベントを始めることが出来た。これは何よりも大きな成果だったと思います。

よく、インターナショナルフェスティバルというと、ニューカマーの方々を、日本人が作った舞台にのつて歌を歌ったり、踊りを踊ったりすることがあると思いますが、私たちの多文化共生としてのあーすフェスタ、お祭りは、共に暮らす人たちが共に考え、そして共に生きること、それをどのように実現していくかを考えるフェスティバルです。いろいろな国籍、いろんな民族が共に作り上げていくそのフェスティバルを、神奈川で行う初めての時、本当に人が来てくれるのか心配でしょうがなかった。でも、そういった姿勢で、いろんな国の人たちが関わり、作り上げたことが、多くの人の関心を引き、たくさんの人たちに広まっていったのだと思います。

民間だけでもダメ、行政だけでもダメで、色んな人たち、色んな立場の人たちが 1 つになって実践してきたから、15 年間あーすフェスタが続き、多文化共生のもとになったと思います。

考え方、思想、同じ民族というだけでは、人と人が信頼関係になれるとは思わない。私たちが 15 年間、一緒に仕事をしたり、感情を交わしたりできたのは、こういった要因だったんでしょね？

水田：やっぱり立場が違ったという事でしょうね。共通点があり、親しいというのは本当に大事なことですけれど、新しいことに向かっていくためには、理想、行動、信頼も必要だと思いますが、理想は、自分一人の中で自然に生まれてくるものではないんです。自分と違った人が、苦難の中で戦っていく姿、希望や理想を持っておられる姿に触れることで、自分の心の中に、今後の理想や、行動しなければならないという気持ちが生まれてくるのだと思います。

私は、裴安さんの行動力と、人を愛して人を巻き込む力に触れて、すべてに惹きつけられてきたのかなと思います。

裴：私自身には力や知恵が無いというか、限界を知っています。だけど、なにかを実現したい気持ちだけは人一倍大きく、強い。一人で出来ないことを、どうしようかと思うと、やっぱり誰かに役者になってもらうしかない。誰かに理想や希望を抱いていただけるということは、色んな素晴らしい人たちと、そのために一歩進むことでもあります。それと出会うことが一番大きな喜びです。そういったことが、神奈川県と、こういったプロセスを進めていく上で非常に大きな力になっています。無力な私を、きちとわかって、色んなところでサポートして下さっています。

私が思うに、彼女と私の間にあるもの、それは「信じる」、それ以外の何者でもないと思います。言葉で表現することではないのですが、「信」というのは、どこから生まれるかということ、やはり私が住んでいる、今生きているこの社会、この地域をどういうものにすべきか、どういう社会にしたいかということが前提にある「信」だと思っています。

理想や希望に向かって、と言うと大げさになってしましますが、私一人の幸せだけでなく、一緒に共に生きている人たちがみんな幸せになってほしいという事が、私の思いです。彼女もやはり同じような思いをもって一緒に仕事をし、行動をし、一緒にいるのだと思っています。

加藤：ありがとうございました。

お二人から会場の皆さんへの質問は、「あなたは、行政と市民の間に、垣根が見えますか。あなたは、その垣根を越えようとしていますか」です。

水田：今日は会場に意外に若い人が多いので、もしかしたらふさふさしい質問ではないかもしれませんが。最初にノーマンさんのお話にあった、三つの壁、「言葉」と「心」と「制度」の壁。制度の壁、つまり「行政」という言い方になりますが、「どうしてそういう制度になっているのだろう」、「どうして役所は自分の思いをくみ取ってくれないのだろう」という壁を感じるがあるでしょうか？そしてそれをどのように超えようとしているかを聞いてみたいです。生活の中でどういうところに行政機関に対して壁を感じているか。それをまず考えていただいて、次のステップについて話をし頂けたらと思います。



(テーブルセッション 5 分間)

会場（10 番テーブル）：相談しに行っても、行政は「決まりだから人々のニーズに合わせて対応できない」というところが垣根と感じます。集団の暮らしの豊かさのためにルールや規則をつくっていく必要があるかもしれませんが、ルールに基づいて行政の人は対応しているような感じがします。

会場（4 番テーブル）：私たちのテーブルでは行政と市民には垣根があるという前提で話しをしました。市民と行政は役割が違うので、そこをどうやって乗り越えるのか、行政には市民の危ない動きを止めるための姿勢があるというのがとても大事だと感じています。例えば市民というのは一つだけでなく、多様な意見をもつグループもいます。それぞれ違う問題があっても行政は対話の場をけて、即戦力になるのであれば、市民側も行側も垣根を越えて、動いてなにかをやり遂げることは出来るんじゃないかという話をしました。

吉富：どんな社会も必ず社会的な課題があると思うのです。これがおかしいとか必ずある。理想郷はなかなかない。でも、課題がある時に必ずしっかり見ていて、これがおかしいと思って目的を共有して、課題解決のためのプロセスで、全然違う立場の人たちが「協力しよう」と組めば、ものすごい強みになる。その経験を話してくださってとても嬉しいです。そういう、何がおかしくて、なにが課題で、これを変えるのだ、という共有、そこが大切なのだと思いました。制度というのは行政が作るわけでも、行政が守るためだけにあるわけでもなく、市民を守るためにあります。人が暮らす社会において、基本的な暮らしをいかに作っていくか。市民であろうと行政であろうと、本当におかしいと思うことは、みんなで変えていく。基本的な課題を共有すれば、社会的な課題を解決するという意欲さえあれば、行政も市民レベルの立場でも、NPO でも解決できるのではないかと思います。行政も非営利セクションの人たちとして、自分たちの課題に対して解決しようとする、これが強い味方になっていくのだと思いました。

加藤：ありがとうございました。

(第2セッション終了)



【講演】

私たちの『まち』で、私たちは次の世代に何を伝えるのか？

加藤：引き続き、ゲストの吉富志津代さんに講演をして頂きます。吉富さんは、阪神淡路大震災後、外国人当事者と共に、神戸で多言語でのラジオ放送を立ち上げられました。そして、外国にルーツを持つ子供たちによる自己表現活動や、コミュニティビジネスとしての通訳翻訳業

務などを立ち上げ、現在も継続されています。そして全国に向け発信しています。エフエムわいわいの代表理事、多言語センターFACIL（ファシル）の理事長、大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授でもいらっしゃいます。では、吉富さんよろしくお願い致します。



吉富：改めまして、吉富です。みなさんの素晴らしいお話を聞いた後なので、気が引ける思いで今、マイクを持っています。今日は難しい話や活動の紹介より、私自身の人生、生き様を通して、どのような経緯をして、どのような人と出会ったか、今の活動の意味や、次世代にどのようなことを残していったらいいのかを、お話させていただきます。

お手元の資料に、私の活動が書いてありますので、そこに至るまでの経緯からまずお話させて頂きたいと思います。

当時、スペイン語が使える仕事ということで、神戸のアルゼンチン総領事館に就職しまして、子どもが生まれて子育ての間、少し仕事を辞めて、そのあとはボリビアの領事館に再就職しました。それが 1990 年で、入管法という、出入国管理に関わる法律の一部改正があって、日系南米人が多く日本に来るというきっかけの年でした。

スペイン語が通じる領事館にいたものですから、そうした人々が来た時に、いろんな相談事が持ち込まれて、領事館が駆け込み寺みたいになったんです。毎日色々な相談事が持ち込まれる中で、違う国で、違う言語で、違う教育を受けた人たちが、日本社会で暮らすのは、こ

んなに大変なんやなって感じさせられました。その時、私にできることとしてスペイン語のガイドブックなどを作っていましたが、やはり仕事柄、翻訳の仕事を頼まれるんです。

当時は、日系南米人と呼ばれる、日本に繋がりを持つ人々が日本で定住者として生活するために、ビザの変更申請が必要でした。ルーツが日本であるという書類を出さなくては行けなくて、例えばボリビアで生まれた人は、スペイン語で書かれた出生証明書を、日本語の翻訳をつけて出ださないといけないんです。この書類が当時、翻訳会社に頼むと 1 枚 1 万円くらいしました。仮に 1 万円としても、家族全員分の 10 枚、15 枚の翻訳料には 10~20 万円かかりました。必死で働いて日本に来る旅費を出している人たちが、そんなお金を出すことはできないので相談を受けていました。

初めはボランティアという形で私も翻訳協力を始めていましたが、噂が噂を呼んで翻訳のお願いが山のように増えてしまったんです。一人では到底できないと思い始めたので、「1 万円は要らないが 2,000 円をほしい」と言ったんです。そうすれば、私以外の人にもしてもらえと思ったので。そうしたら「2,000 円でもいいからやって欲しい。実は申し訳ないと思っていた」と言われて、それがどんどん広まっていった経験をしたんです。こういった必要性があるにもかかわらず、その頃は他に対応をするところなかったんです。翻訳・通訳のちゃんとした会社はあったんですが、料金の関係でなかなか頼めなかったんです。

そこで、社会の中に、翻訳・通訳という必要な情報を多言語化するビジネスの隙間に気づかされました。そうした、いろんなことが現在の「多言語センターFACIL」の設立のきっかけになりました。

当時、私は駆け込み寺みたいなのところにいて、できることをやっていましたが、「これが世の中に必要なことなのに、流通していない」と気づいたんです。そうした人たちとの出会いから、多言語という環境の大切さと、それを継続するためのビジネスにしていく意味を教えてもらいました。もちろん、「それをビジネスにして」と皆さんに言っている訳ではなく、実は翻訳・通訳の仕事をしている人たちは、私のように日本語がネイティブで違う言語が出来る人た

ちもありますが、日本に来て日本語以外の自分の言葉を書けるし読めるし話せるけど日本にいる人、日本語も話せる人たちが圧倒的に多いんです。彼らの活躍の場がなかったので、それに対価が支払われることで、仕事創出の基盤づくりをしました。

これは、私がいろんな人と出会う中で得た経験なんです。さらにそれは、ただ能力を持った人が活躍できる場を作っただけではなく、それによって双方向のコミュニケーションが進みます。日本語から日本語以外の言語で情報を伝えることで、こちら側に今度は伝えた相手から違う情報が返ってきます。

もう少し、平たく言うと、私の場合はスペイン語というツールを使ってコミュニケーションを取りましたが、そうする中で、その人たちが困っているから助けているだけではなく、その後、彼ら彼女らと友達になっていく中で、楽しい思いをしたことが山ほどあります。だから、社会の中にもっとこれを広げなければいけないと思い、それが「多言語センターFACIL」に繋がりました。今は、800 人ぐらい登録者がいて、協力してくれています。これをまとめて、NPO 法人として運営しています。

領事館の駆け込み寺みたいなところで、いろんな人に出会うことによって、いろんな気づきを与えてもらいました。社会に対して気がつかなかった視点で繋がりを持たせてくれた、というのが、多言語センターを作るきっかけとなった柱です。

もう一つ、子どもの活動という事でお話しします。自分の子どもたちは楽しそうに学校に行っていました。本当に楽しめているのかどうか疑問に思っていました。その時に、「ベンポスタ子ども共和国」という、スペインで孤児の子たちがサーカスをして自分たちの生活の糧を得て暮らしているコミュニティがあって—今は残念ながら縮小してしまっているようですが—その神父さんが土地を借りて、そういった子どもが暮らすスペースを作って、学校に行きたくても行けない多くの子どもたちが集まって、サーカスをして暮らしていました。その子どもたちが、ちょうど 1993 年に、地元の市民の人たちのネットワークで日本に招聘され、—確か神奈川県でもサーカス公演をしたんですが、—全国で 5 か所ほどサーカス公演をしたのですが、その

時にスペイン語の通訳ボランティアで関わりました。

私は、サーカスと言うと、可哀想な子どもたちがサーカスをさせられるイメージでしたが、合計 86 名の子どもたちは、ものすごく生き生きと自分を表現して、サーカスを通して世界に平和のメッセージを伝えに来ているんだ、と誇りを持って自分のことを語ってくれたんです。

その子どもたちの表情にもものすごく感銘を受けて、サーカス公演が終わった後に、私自身ももっと彼らの生活を知りたくなったので、スタディーツアーを企画して、30 人ぐらいの親子を連れて、スペインのそこに行きました。ツアーに参加したのは、ほとんど不登校の子どもたちだったんです。学校に行けるけど、行きたくないという子ども達が集まったんです。その子どもたちはある意味、逃げ場を求めているんだと思いますが、その子どもたちを連れて行きました。その子どもたちはツアーに参加して、自分で何か行動することの大切さに気がつき、帰ってきたときには、自分が自分のままでいいのだとホッとした顔をしていました。それを見て、日本の教育環境は本当にこれで良いのかなと心配になってきたのですが。

そしてその後、1995 年に阪神・淡路大震災がありました。東日本大震災も大変ですが、当時、未曾有の大震災と言われて、6,434 人の方が亡くられました。私も領事館を辞めて時間があつたので、ベンポスタの子どもたちを受け入れた教会で支援活動を始めました。多言語のことと、子どもたちのことが頭の中にあり、震災の支援に関わっていくんですけども。

その時、ボランティアの中には、普段はコンビニの前でたむろしているようなお兄ちゃんが、すごく頑張って活躍している姿を見たんです。日本にも、活躍する場や役割があれば、こんなにも生き生きとして動くんだ、と思いました。

救援活動で出会った友達や、子どもに関する活動で出会った人たちとはずっと友達で、仲間として今も一緒に活動しています。その人たちとの活動は震災後に始まった救援活動でしたが、普段から多言語の情報がないからあまり情報が伝わってないとか、能力を持っても活躍する場がない人たちが、実はこんなにもたくさんいるんだ、という事に気がつきました。それはもちろん外国に繋

がりのある人たちだけではないんです。人は居場所と出番・役割みたいなものを与えられた時に、とても活躍するのです。

社会が復興にむかう過程で、ただ元に戻すだけではなく、震災前に「これはおかしい」と思っていたことも含めて解決していける復興のまちづくりをしたいと、市民活動が私の仕事になりました。

コミュニティビジネスとして、多言語環境を整える、外国に繋がる子どもたち、特に居場所がなかった子どもたちが、自信を取り戻して、日本の学校の中に気づきをもたらしてくれるのではないかという期待を込めて、活動をしています。

いろんな人と出会う中で、もう少しちゃんと活動内容の整理をして、きちんと社会を変えることに真剣になりたいと思った時、大学院に行こうと決めました。国際協力政策の分野で神戸大学の大学院に入って、団体の運営をしながら大変でしたが、一応、修士号を取りました。でも、国際協力なので、外交などの政治的なものが研究テーマになってしまって、自分の住んでいる社会のおかしなことを、いろんな人としっかりと解決するという私の思いが論文に書けなかったので、京都大学の公共政策に編入して博士号を取って、それをちゃんと社会に伝えたいと思い本を出しました。そういった経緯から、大阪大学で教員をすることになって4年になります。

人生を振り返ると、たまたま領事館というところにて、外国から新しく住み始めた多様な人たちとの繋がりから、いろんな事に気づかされて、それが楽しくて、阪神・淡路大震災で、もっといろんな人と知り合うことができ、普段活躍できていないかもしれない子どもたちが活躍する場の必要性に気がついて、自分が住んでいる社会に向き合うこと、それに10年も20年もかけて気づかされたような気がします。

日本の中で多文化共生は、どういうことなのかというのを最後のまとめとしてお話ししたいと思います。次世代にどう繋いでいくかという事になると思います。

日本の社会の中には「和・ハーモニー」という、とても良い文化があります。でも、その「和」は、もめ事を起こさないで、同じである事に価値を置くことだ、と多くの人が勘

違いしていると思います。確かに、もめ事はおこしたくないし、できればスムーズに物事を決めたいと思っているから調和は大事だ、というのはわかるのですが、でも、その「和」から排除されている人がいたら、これは調和でもなんでもない。同じような人を集めて、これでいいんだ、と、排除された人に押し付けることだと思います。

先ほど、どなたかが「対等な」という事をおっしゃっていましたが、「対等な」というのは、その「和」の中に、どの人も入っているという事。全然違う、たった一人の意見も取り入れているかどうか、全部の意見が出されたところで、ルールや制度を決めるための調整がされているのか。それを前提にしないと、この「和」や「調和」は、日本が大切にしてきたものでもなんでもないと思います。そこをもう一度考え直すという事が、大切だと思います。それは、ものすごく大変なんです。

多数決をして、多数者の意見を取り入れることは、短い時間で素早く簡単に決められるかもしれないですけど、それではただ単に、強い人の意見だけが反映されたルールになってしまいます。

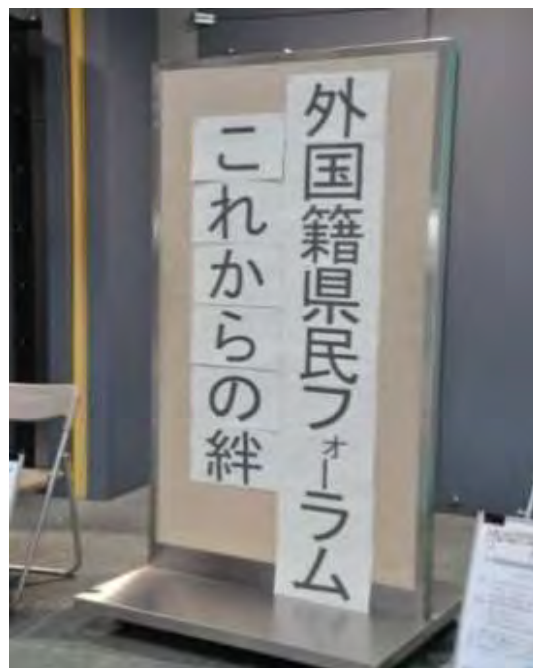
だから、少数の人たちも含めたいいろんな人の意見を取り入れて、その人たちがしっかりと納得するプロセスをちゃんと踏むこと。ただ、単に違う事を出し合うだけでは収拾がつかなくなりますから、共感したり、納得するプロセスが必要です。もめたり対立することがあるかもしれませんが、そういう事を経て納得しないと、一人一人の尊厳が守られた、成熟した社会にはならないと思います。

外国に繋がることだけが多文化共生ではないし、違うという事をただ広げることも違うと思います。広げた後に、みんなでしっかりと調整することが必要です。納得するプロセスを踏むことが、居場所や出番になると思うのです。これは、私たちが次世代に残していく、とても大事なことだと思います。

一人一人が変わらないと変わらない。誰かが与えてくれるものでもないのです。そのようなことを、今の大人たちが伝えていかなければならないと思います。ありがとうございました。

加藤：ありがとうございました。つい、対立を避けたいと思いますが、そうではなくて、「違いを出し合って、互いに納得がいくプロセスを踏む事が大事」、という言葉が非常に胸に残りました。実は、このあーすフェスタも約半年間かけて今日を迎えています。約 50 名の企画委員が、2 日間の企画をたて、どう運営するか話し合ってきました。振り返ってみると本当に少数意見も取り入れていたのか、聞く耳を持っていたのかと、反省しながら吉富さんのお話を聞いていました。

来年もおそらく 16 回目のあーすフェスタが行われることでしょう。今年の 11 月か 12 月には、また新しい企画委員会が立ち上がります。皆さんも是非そこに参加して、吉富さんがおっしゃった言葉を胸に、一緒にあーすフェスタを作っていきましょう。本日は、ありがとうございました。

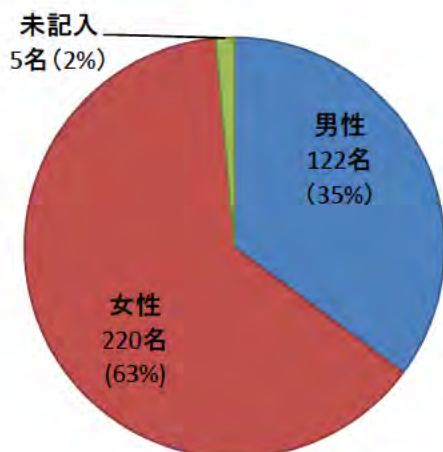


来場者アンケート結果

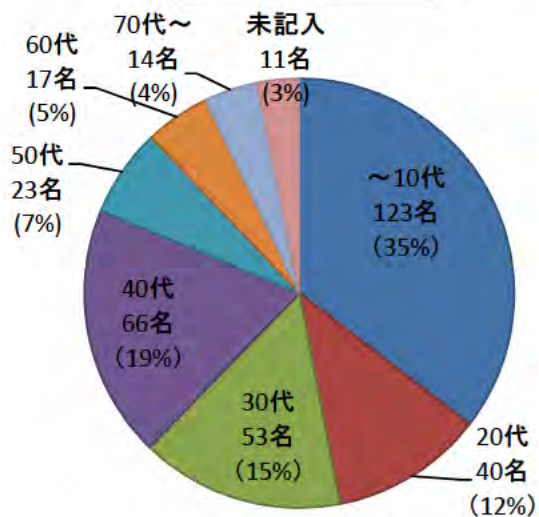
(回答者数:347名)

(1)回答者の属性

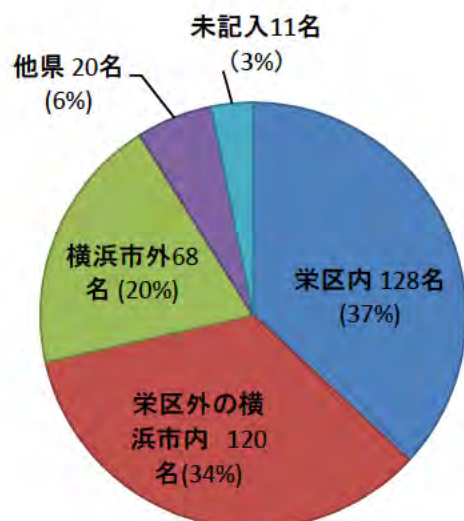
性 別



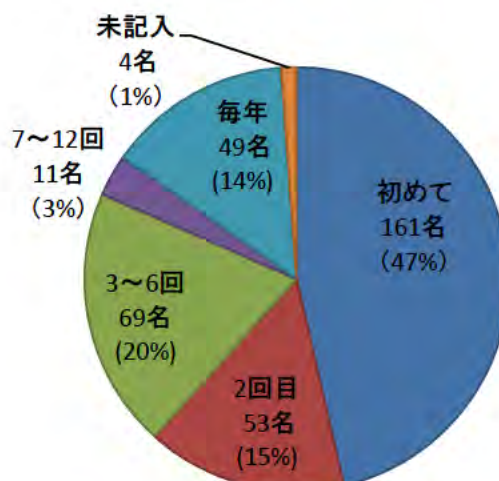
年 齢



住 所



来場回数



国籍・地域等

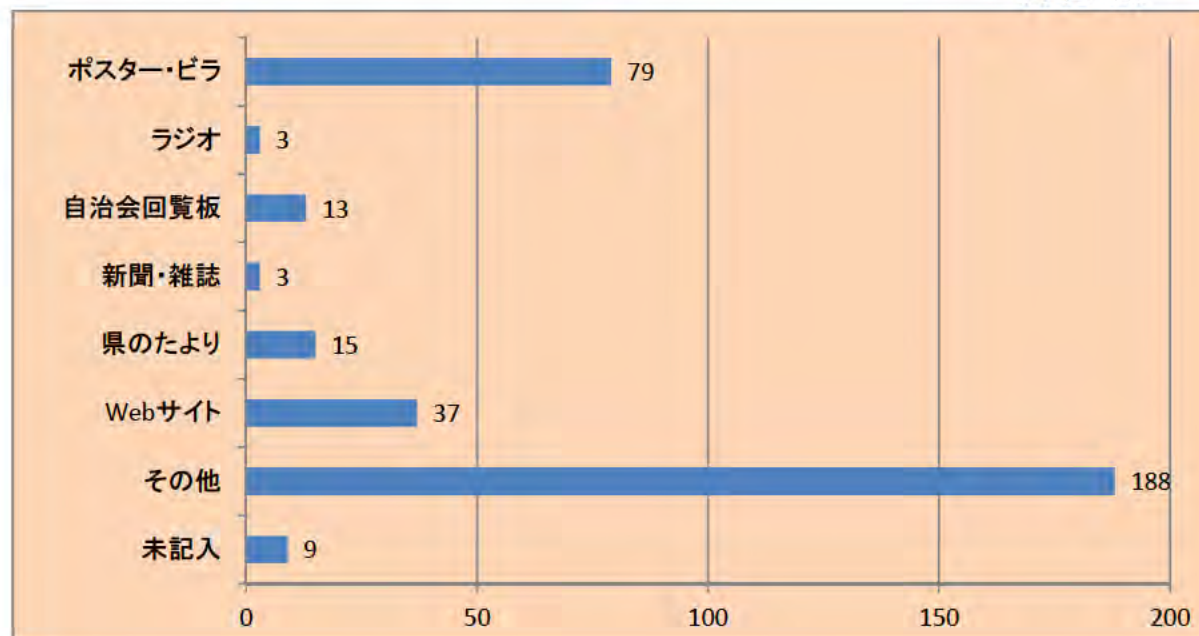
(単位:名)

日本	中国	韓国	ベトナム	セネガル	ラオス	ハイチ	ネパール	ペルー	ブルキナファソ
325	9	5	2	1	1	1	1	1	1

(2) 広報の結果

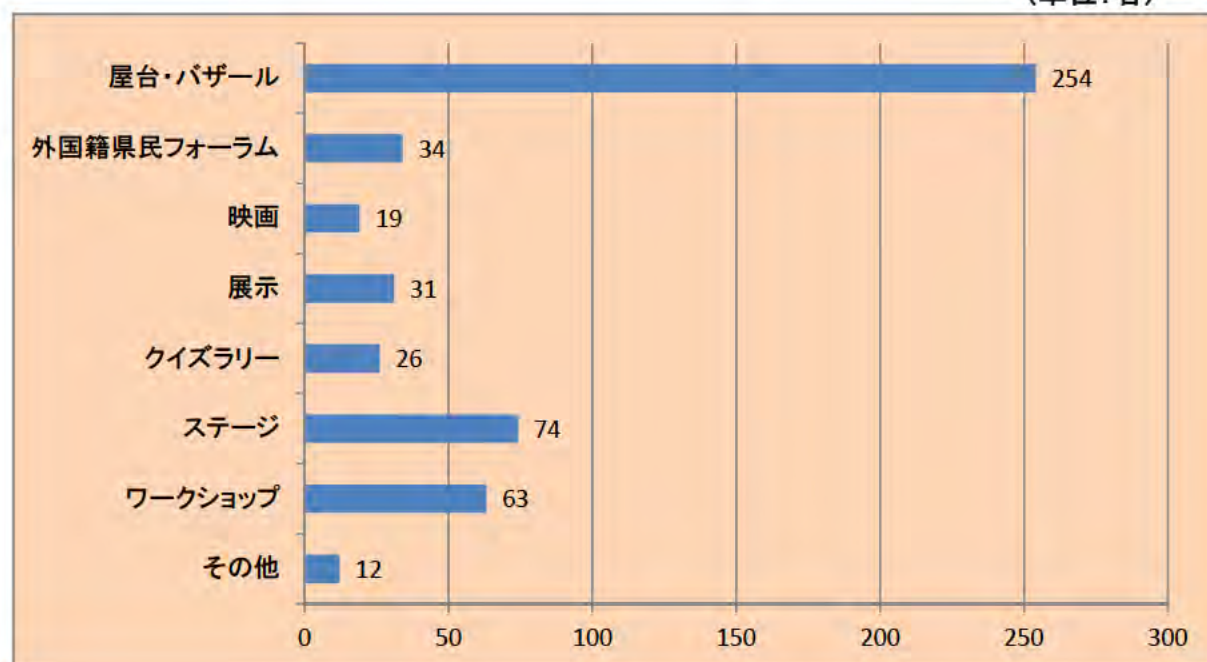
このイベントをどこでしましたか？

(単位:名)



特に良かったプログラムは？

(単位:名)



あーすフェスタかながわ2014来場者コメント

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ファッションショーに参加できてよかった。	いろいろな国の食べ物が食べられて良かったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ファッションショーに参加したから。	屋台がたくさんあって楽しかったです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	いろんなものがあった	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	ファッションショー	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	子供たちがかわいかった	ごはんがおいしかったです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	活気があったため	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	世界の料理を楽しめた	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	屋台のものがうまかった	
男性	ベトナム	①～10代	①楽しかった	みんなが楽しくしてくれたから	超楽しかった。料理がおいしかった！！けどちょっと高いです。
男性	ベトナム	①～10代	①楽しかった	皆と同じ思いでを作れました。	すごく楽しかったです。また来年も来ます。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	ご飯がとてもおいしく満足でき多文化を感じたから	ケバブがとてもおいしかった。バルーンアートも人がたくさん来ていてやりがいがあった。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	屋台がいっぱい出ていて踊りがよかったから	屋台前の踊りがよかった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	子供が可愛かった。	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろな国の料理があったから	来年もまた期待です。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろな国のことを知ることができたから。	とても楽しかったです。来年も期待しています！
男性	ネパール	①～10代	①楽しかった		楽しかったです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な人がいてとても楽しかった	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろ世界のことがあったから。	とても楽しかったです。もうちょっと近かったら来たいです。
女性		①～10代	①楽しかった	いろいろな人と触れ合うことができました。	とても楽しかったです。「多文化共生」について、色々なことを学ぶことができました。「共に生きる」ことを大切に、常に挑戦する気持ちでいきたいです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	クイズがあったから	
女性	二重国籍	①～10代	①楽しかった	みんなが楽しくしてくれたから	ちょー楽しかったし、料理がおいしかった！子供もかわいかった。
女性	二重国籍	①～10代	①楽しかった	子供たちと遊べたので楽しかった！	めっちゃ楽しかった！
女性	二重国籍	①～10代	①楽しかった	みんなとふれ合えたから。	とても楽しかったです！料理がたくさんあっておいしかった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な国の物を売っていたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった		日本語以外でコミュニケーションが取れた時が、とても新鮮でよかった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	たくさんの国籍の方々がいて、にぎやかだったから	こういったイベントを全国でもやってほしいくらいです。このイベントをたくさんの人たちに知ってほしいです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	民族衣装も着たし、食べ物もおいしかった。	次あったらまた参加したいです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	韓国人とお話できたから	うーい！超HAPPY！
男性	日本	①～10代	①楽しかった	みんなと楽しく活動できたのでよかったです。	たくさんの人が来ていてびっくりしました。また参加したいと思いました。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	トランポリン	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	みんなでわいわい楽しめたので。	たくさんの人が楽しそうにしていたので、良いと感じました。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	クイズやあめがあるから。	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	クイズがあるから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	人がたくさんいて、食べ物も衣装もよかった！すてき！！	ありがとうございました！
女性	日本	①～10代	①楽しかった	かわり持てた	とっても楽しかったです！たくさんともだちできました。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ボランティアもできてよかった	初めて参加してとても楽しかった。来年もまた来たいなと思いました。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	スタンプラリーがあった。	特にありません
男性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な世界の文化にふれることができた。	年に一度の本郷台のおまつりだと思っているので、非常に楽しめました。今年は天候にも恵まれていて、多くの人々がきていて盛り上がりよかったと思います。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	自らも参加して運営に協力したから。	15周年ということで歴史あるこのフェスティバルをいつまでも続けてほしいと思います。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	人がたくさんいたので。	楽しかった！またボランティアしたい。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろな国を知れる	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	おいしいものがたくさんあった。	いろいろな国の食べ物があってよかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	食べ物がおいしかった！	リサイクルは大変でしたが、楽しかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な国の料理が食べれそう。	
男性	日本	①～10代	①楽しかった		

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろな人と交流できたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	お肉おいしかった。	屋台で、12時台なのに売り切れがあったので、もう少し数を増やしてほしいです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった		ラム肉が食べたかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろなお店やアクセサリーがあったから。	楽しくて面白かった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	屋台がたくさんあったから	あめがおいしかった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった		楽しかったです
女性	日本	①～10代	①楽しかった		各国の文化が分かるとてもよいイベントだと思います。
女性	日本	①～10代	①楽しかった		来年も楽しみにしています！
男性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な人とお話しできた。コミュニケーションもできた、	自分はゴミ捨てのボランティアをしていましたが、いろんな人とお話しすることができて、とても楽しかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	シンポジウムでいろいろ聞けたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々なものがあったから	
男性	日本	①～10代	①楽しかった		
男性	日本	①～10代	①楽しかった	うたを聞いていて。	映画をもっと出してほしかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	食べたから。	トランボリンをやったから。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	きれいなものがいっぱいあった。	いろいろあって楽しかったです。面白かった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	毎年やっていてとても賑やかだから。	外国の人や外国のことができていいと思います。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	色々なショーが楽しめたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ダンスが踊れたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	春夏秋冬のライブ	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	多くのイベントが開かれていたため	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	シネマコレクションがよかった	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	映画が感動的だった。	とてもよかった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々あったから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	食べ物がおいしかった。	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な国の料理を食べられたので。	
男性	日本	①～10代	①楽しかった	毎年ほとんど同じだから	新しいなにかをやったらいいと思う。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	にぎやかだから	また来年もやってほしい。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	おいしかった(色々)	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	にぎやかで、ごはんもおいしかった	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	皆色んなものをおいしそうに食べていた	楽しい雰囲気でした。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	食べものもおいしかった。ステージもよかった。	来年もくると思います。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	屋台、パフォーマンス	来年もくると思います。楽しみにしています。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	ふつうにたのしかった	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	おどろとか、料理がおいしかった	又、来年も来たいと思います。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	たのしかった	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ボランティアとして参加しました	来年もできたら、参加したいです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	たのしいものがいっぱいある。おいしいものがすき。	おいしいものがいっぱいあって、トランボリンがたのしいから、来年もいきたい。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	かわいいものがたくさん売っていて、安く買えるから	毎年面白いものが安く売っているの、毎年来るのを楽しみにしています。館内でするディアブロが特に楽しいです。来年も可愛いくて、面白いものを楽しみにしています。来年も来たいです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろなやたいがあってとてもたのしかった	楽しかった
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろいろな屋台がじゅうじつしていたから	とてもたのしかったです。来年も来ます！！
女性	日本	①～10代	①楽しかった	友達のダンスが見れた！！友達と遊べた！！	近くにある場所でやってよかった！！すごいダンスを見れた。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	ダンスをしたのしかった	いろいろなプログラムがあってあきなかった。ごはんもおいしかった！
男性	日本	①～10代	①楽しかった	バルンアートのアンパンマン	食べ物がおいしかったです。

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
男性	日本	①～10代	①楽しかった	お祭りだから	ケバブがおいしかった。アンパンマンがおもしろかった。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	祭りだから	みんなが盛り上がった。アンパンマンが面白かった。
女性	日本	①～10代	①楽しかった		
男性	日本	①～10代	①楽しかった	様々な国の文化をたのしめるところ	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	屋台が沢山あっておもしろかった	わいわいしてて、すごく楽しかったです。
女性	中国	①～10代	①楽しかった	いろいろな国のごはんが食べれたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	おいしいものが食べれたので	毎年沢山の人が異文化にふれられるこのイベントはこの地域にとって大切なものだと思います。
男性	日本	①～10代	①楽しかった	国際理解について多くのことを学べる。屋台村の料理おいしい。	あーすフェスタは、恐らく神奈川県内で開催されるあらゆるイベントの中で最も楽しく、充実したイベントの1つだと強く感じている。世界の様々な国々の文化、生活、食生活などについて非常に多くのことを学べることができた。また、国際協力(物を買うことによる支援等)の場を兼ねていることが素晴らしい。外国籍県民フォーラムを日曜にもやってもらえれば、より多くの人が参加できと思う。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	毎年母ときています	ことしは15周年ですね。15周年だからステージもくふうしていてとてもたのしかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった		色々な国の衣装やたべものがたくさんあって、ちがう国の文化とかにふれることができよかったです。ありがとうございました。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろんな人とかかわれて、刺激的な1日だった。	このイベントを通して、いろんなことが学べました。世界のことを知るきっかけになりました。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	自分たちも体験することができたから	初めて来ましたが、ボランティアとして楽しめました。ありがとうございます。
女性	中国	①～10代	①楽しかった	「多文化共生」について色々ありましたから	今日、あーすぶらざで新しい世界をすることができました。多様な国の文化を自らが「体験」し、楽しいプログラムが色々、世界の楽器や踊り、わらべうた、絵本、あそび、工作、スパイス作り、毛筆でかくことなど、ふれ合ったことのできない文化体験し、日本で世界を一周した気がします。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	色々な国の料理が食べられてよかった。	ステージや屋台がとてもよかったです。
女性	日本	①～10代	①楽しかった	全体的に楽しめるようなものになっていたから	
女性	日本	①～10代	①楽しかった	いろんな人たちが集まって、いろんなことをしているから。	楽しかったです。また見たい＆出たいです。
男性	中国	①～10代	①楽しかった	お客さんがどんどん来ること	本当にこの機会を借りて、いろんな人におりがみというものを知ることができた
女性	日本	①～10代	①楽しかった	今回はインターンとして参加することができ、お客さんの笑顔がたくさん見れたから。	元々興味があった海外の文化や生活スタイルや言語についてもっと知りたいと思いインターンとして参加しました。今回お世話になりました仕事の場で青年海外協力隊のOBの方々から派遣先での体験談なども聞くことができ、とても貴重な経験をするすることができました。とても楽しかったです。次回もまた参加したいです。
男性	日本	①～10代	①楽しかった		売ってるものがおいしい。
女性	日本	②20代	①楽しかった	赤ちゃんも楽しめてよかったです。	外国語の読み聞かせがとてもよかったです。また来たいです。衣装を着れるコーナーも子供が楽しめました。
女性	日本	②20代	①楽しかった	子供とたくさんふれあえた	また来たいです。
男性		②20代	①楽しかった	子供が多いから。	
男性	ラオス	②20代	①楽しかった	子供が多いから。	とても楽しかったです。またぜひ来たいです。
男性		②20代	①楽しかった	人数が多くてそういうにぎやかが好きです。	食べ物がおもしろかったです。また食べたいです。
女性	日本	②20代	①楽しかった	子供がいろいろと興味を持った	
女性	日本	②20代	①楽しかった	ふわふわ楽しかった。	
男性	日本	②20代	①楽しかった		今回ボランティアで初めて参加しましたが、来年是非イベントに参加してみたいと思います。
男性	日本	②20代	①楽しかった		
女性	日本	②20代	①楽しかった	ボランティアが楽しかった。	
女性	日本	②20代	①楽しかった	いろいろな国の衣食住について知ることができた	また来年もぜひ参加したいです。
女性	日本	②20代	①楽しかった		多文化共生のイベントなので、せめて、英語のアンケートもないと思った

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	②20代	①楽しかった	子供と触れ合えた	また機会があれば参加させていただきたいです (ボランティア参加)
女性	日本	②20代	①楽しかった	たくさんの人でにぎわっていたから	初めてボランティアで参加しましたが、1日楽しむことができました！！
男性	日本	②20代	①楽しかった	たくさんの人と交流することができた。	また、ボランティアに参加したいです！
女性	日本	②20代	①楽しかった	すごいっぱい人がいた	楽しかったです。ありがとうございました。
男性	日本	②20代	①楽しかった		多文化共生が求められる中で、フェスタのような交流イベントは文化の理解・体験という意味でとても有意義なものだと感じました。
男性	日本	②20代	①楽しかった	屋台の外国の食べ物がたくさんあって満足できました。	最初は参加したくはなかったけど参加して行ってみて屋台のインタビューとバザーの応募の申し込みを回りました。失敗してもいいからボランティアをがんばるとてもいい事だし、できれば、明日も参加したいけどボランティアの担当じゃないから見学に来るだけしかできないのは残念です。ぜひ来年もよろしくお願いします。
男性	日本	②20代	①楽しかった	子供と遊べるし、酒も飲める	去年は子供の服も買えたけど、今年はかわい服がなかったかなあ……。
女性	日本	②20代	①楽しかった		とっても楽しかったです。
女性	日本	②20代	①楽しかった	お店が多く、充実していた。	横浜市内でも北部 (青葉区、都筑区) あたりでは知られていないので、告知してほしい
男性	日本	②20代	①楽しかった	様々な国のものが多く集まっている。	ぜひ来年も開催して下さい！
女性	日本	②20代	①楽しかった		
女性	日本	②20代	①楽しかった	屋台が多くて楽しかった！	
男性	日本	②20代	①楽しかった	久しぶりに国際イベントを見た。と言っても毎年1日だけ	03年～07年の城西国際 (高校の担任から言われて) の後は、あーすフェスタしか、テレビ以外に国際話はなく、来ています。今年は職業訓練 (新杉田ぼこあぼこ) の実習出張のため、県庁文書課第2集配室で、国際課 (という所) からの書類 (J合) 作業で、いつもはチラシで知るこのイベントを知りました。いつもは見ただけでしたが、今年は思わぬ所で聞われました。
女性	日本	②20代	①楽しかった	屋台がたくさんあり、他の国の食べ物のおいしかった	また来年もぜひ来たいです。
女性	日本	②20代	①楽しかった		タン串おいしかった
男性	日本	②20代	①楽しかった	食べ物もイベントもよかった	多文化共生がよりすすむといいですね。(こういうイベントをととして)
女性	日本	②20代	①楽しかった	色んな国のブースがあったから	
男性	ブルキナファソ	②20代	①楽しかった		
女性	日本	②20代	①楽しかった	色々な国の文化にふれられた	普段日本で生活していたら出会えないもの、人に出会えて楽しかったです。カンボジア料理、おいしかった
女性	日本	②20代	①楽しかった	様々な国の文化に触れられて良かった	
男性	日本	②20代	①楽しかった	ゆっくりステージを見てみて良かった。	17日はボランティア、18日は見学してみて、いろいろ楽しめたけど屋台は何も買わなくて残念だった。
女性	韓国	②20代	①楽しかった	いろんな国の人とかわり、文化をみれるから	
女性	韓国	②20代	①楽しかった	多国籍の文化、人とふれあえる	
女性	日本	②20代	①楽しかった		NPOなど各団体のバザーが楽しかったです。ただ展示スペースでは来場者への説明よりスタッフ (ボランティアさん?) 同士でのおしゃべりが盛り上がっていて、あまりお話をきけませんでした。
女性	日本	③30代	①楽しかった	食べ物がおいしかった。	1階にある屋台の前は人がごった返して、ベビーカーや車いすも通り、危ないと思った。
女性	日本	③30代	①楽しかった	人がたくさんいていろいろなイベントがある。屋台もある。	全体がわかるタイムスケジュールがほしい。別紙で挟み込みの神が多いのでまとめてほしい (スケジュールくらいは同じ冊子がいい)。地図のポスターとかがもう少し館内にほしい。
女性	日本	③30代	①楽しかった	海外の音楽にふれたりできた	楽しかったです。
女性	日本	③30代	①楽しかった	参加型のイベントが多くて異文化を感じられました	毎年来ていますが、何度来ても元氣とパワーをいただけます。ありがとうございました。
男性	日本	③30代	①楽しかった		明日はもっと早く来るぞ！

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	③30代	①楽しかった	いろいろな国の文化に触れられるから	インターナショナルなバザーはよくありますが、このフェスティバルはお店だけではなく、ワークショップやダンス等様々な角度からアプローチしているのがよいと思います。
女性	日本	③30代	①楽しかった	踊りの体験ができた	天気がよく外も中も楽しめました。
女性	日本	③30代	①楽しかった		
男性	日本	③30代	①楽しかった		
女性	日本	③30代	①楽しかった		
女性	日本	③30代	①楽しかった	こどもの絵本とてもよかった。	毎年楽しみにしています！
女性	日本	③30代	①楽しかった		初めて来ましたが楽しかったです。もっといろいろな国の人と話せるような場、方法があればよいと思います。
女性	日本	③30代	①楽しかった		食事スペースが外に多いとうれしいです。
女性	日本	③30代	①楽しかった	色々な国の方とお話してきたので！	ワークショップがもっとたくさんあるとうれしいです。たとえば料理教室とか、モノづくりとか。でも楽しかったですよ。
男性	日本	③30代	①楽しかった	屋台	ワイン
女性	日本	③30代	①楽しかった		
女性	日本	③30代	①楽しかった	習字、工作が楽しかった。	
男性	日本	③30代	①楽しかった		村岡バンザイ！
女性	日本	③30代	①楽しかった	食べ物がおいしかった。	これからも続けてください。
男性	日本	③30代	①楽しかった	料理が多いため	
女性	日本	③30代	①楽しかった	インドのスパイスショップやいろいろな国の食べ物を楽しみなので。	いつも外の屋台に目が行ってしまい、なかなかホールなどの企画に目がいかず、終わってから「しまった」と思っています。次回こそはもっと楽しめると自分なりによいかと。
男性	日本	③30代	①楽しかった	各国の料理を見たり食べたりできたから。	
女性	日本	③30代	①楽しかった	めったに食べられない料理が食べられる	子供が気軽に参加できるイベントがあったらうれしいです。せっかく他の国の子供たちも集まるので、そういう子と遊ぶ機会がほしいです。ボランティアの皆さん、暑い中、おつかれさまでした。
女性	日本	③30代	①楽しかった	色々な国の店があったから。	
女性	日本	③30代	①楽しかった		また来たいです。色々食べられてよかったです。
女性	中国	③30代	①楽しかった	世界のいろんなことがわかった。	
女性	日本	③30代	①楽しかった	たくさんの国の食べ物と音楽に出会えたから	初めて参加しましたが、たくさんの国の遊びや音楽、食べ物に触れ合えて楽しかったです。こんなイベント他にないです。良い刺激になりました。1才の子どもと来ましたが、ずっとこれからも子どもと参加したいと思いました。
男性	日本	③30代	①楽しかった	ステージがよかった	
女性	日本	③30代	①楽しかった	普段食べられないものがたべられるから。	毎年たのしみにしています。小さい子供といっしょに来れるお祭りの1つなのでまた来年きたいです。
女性	日本	③30代	①楽しかった	色々な国の食べ物がある	
女性	日本	③30代	①楽しかった		とても楽しく過ごせました。
男性	日本	③30代	①楽しかった	いろいろな人と交流をもてたから	楽しいイベントなので続けてほしいです。
女性	日本	③30代	①楽しかった		屋台がいつも食べられないものばかりでおいしかった。
女性	日本	③30代	①楽しかった	いろんな国の料理が食べられるので	毎回楽しみにしています。ありがとうございます。
男性	日本	③30代	①楽しかった		
男性	日本	③30代	①楽しかった	いろんなものがありましたね	屋台以外にも催しがあるのは知らなかったもので、次回はもっと楽しみたいですね。たまたまケーブルテレビで見かけたから来られましたが、もっと広報にチカラが入っていたら良かったかなと思います。

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	③30代	①楽しかった	各国の料理が楽しめる	世界の食とワークショップの中国ゴマを目的に毎年楽しみにしています。パズールの商品もいろいろあって面白いのですが、食器や食品の種類が増えるといいと思います。それと、屋台で買った食事を運ぶのが大変なので、持ち運びしやすい食器にする、トレイを使う等何か工夫して下さい。来年も楽しみにしています。
女性	日本	③30代	①楽しかった		
男性	中国	③30代	①楽しかった	異文化交流のためいろいろなイベントが開催	
女性	日本	③30代	①楽しかった	2時～5時の音楽イベントがよかった	音楽、私の好みの感じでとても流れもよくよかったです。初めて来ましたが、予想以上にパズールも色々楽しめました。来年も来たいです。英語などの交流もあれば英語を話す機会ができていいなと思いました。
女性	日本	③30代	①楽しかった	毎年子供と共に来てます	今年も楽しかったです。毎年来てますが、まだ未体験のものがたくさんあり、又来ます。子供も楽しんでます。私はステージが好きです。屋台がもう少し安いと助かります。
男性	日本	③30代	①楽しかった	ダンス	ダンスがおもしろい
女性	中国	③30代	①楽しかった	内容豊かです	
男性	日本	④40代	①楽しかった	屋台の食べ物	世界中の食べ物を食べられたので最高によかったです。
女性	日本	④40代	①楽しかった		夜の屋台がほとんど終わっていて残念だった。夜もやってほしい。
女性	日本	④40代	①楽しかった	屋台メニューがおいしかった。子供が楽しんでた。	ボランティアの方がイベントを支えて盛り上げているので良いと思った。屋台のごみまでボランティアの方が分別を積極的にしているのはとても感心した！
男性	日本	④40代	①楽しかった	国際色豊かで親子で楽しめるから。	初日からステージのショーがもう少したくさんあるとさらによい。
男性	日本	④40代	①楽しかった	イベント、屋台	ボランティアの皆さんお疲れ様です。
男性	日本	④40代	①楽しかった	色々なものが食べられた。色々体験できた。	来年もまた来たいと思います。
	日本	④40代	①楽しかった		
女性	日本	④40代	①楽しかった		ジャンベの体験が良かったです。屋台が早く閉まってしまって17時には買えるお店がなくて残念でした。
女性	日本	④40代	①楽しかった	世界各国のお料理や踊りがいつも楽しい	スパイス作りができなくて残念だった。
女性	日本	④40代	①楽しかった	以前、旅行した国々があり、なつかしく楽しかった。	
男性	日本	④40代	①楽しかった		
男性		④40代	①楽しかった	来年のため	来年度は必ず参加したいと思います。
男性	日本	④40代	①楽しかった	様々な文化に触れ合えた。楽器等。	
男性	日本	④40代	①楽しかった	異文化を体験できるため、おいしい料理が食べられるため。	民族衣装を着せていただいたのは子供により経験となりました。ありがとうございました。また来ます。
女性	日本	④40代	①楽しかった	国籍、年齢問わず参加できるから。	毎年たのしみに来ています。若い方たちがボランティアで参加しているのもいいですね。「世界のお茶」コーナーがなくなったのでしょうか。残念です。
男性	日本	④40代	①楽しかった		
女性	日本	④40代	①楽しかった	子供も楽しめてよい！	また来たいです。
男性	日本	④40代	①楽しかった	色々な国の料理を毎年楽しみにしています。	
男性	日本	④40代	①楽しかった	いろいろな食べ物がある	
女性	日本	④40代	①楽しかった		子供も楽しめるプログラムでよかった。パズールでの販売以外の小学校向け体験などがもっとあれば、国際交流など、理解が深まるのでは？
女性	日本	④40代	①楽しかった		アフリカ太鼓のワークショップがよかった！
女性	日本	④40代	①楽しかった	複数のイベントに参加することができた	来場者が多いにもかかわらず、スムーズに運営されていたと思います。
女性	日本	④40代	①楽しかった		トランボリンの受付終了が早く子供が遊べなかった。
女性	日本	④40代	①楽しかった	いろいろな国の文化がまなべて勉強になりました	マンゴージュースを売っている屋台がありましたが、大量の水でうすめているのを見ました。その前に知らずに買って飲みましたが、味は超うすく、この業者は問題ありだと思います。

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
男性	日本	④40代	①楽しかった		年1回ではなく、年3、4回とやったほうが定着するし、浸透すると思う。年1回はさびしい。あと、もっと参加型プログラムをふやしたほうがよい。
女性	日本	④40代	①楽しかった		スペイン語／日本語読み聞かせ、紙芝居
男性	日本	④40代	①楽しかった	異文化を少しだけ体験できた	
女性	日本	④40代	①楽しかった	色々な国の料理(屋台)を一度に楽しめる。	子供が小さいのであまり展示を見れないので、大きくなるまで続けてほしいです。
女性	日本	④40代	①楽しかった	屋台もあり、子供も楽しい	年2回開催でもいいと思う。
男性	日本	④40代	①楽しかった	韓国の工作と歌とダンス、読み聞かせ等さまざまな体験ができたから。	多くの国の人々がともに暮らしていることを実感できた。短い時間でしたが、楽しく過ごせました。少しでも子供の記憶に残ってもらえればよいと思っています。準備、運営等大変だったと思います。ありがとうございました。
女性	日本	④40代	①楽しかった	色々な国の料理が楽しめる。	
女性	日本	④40代	①楽しかった	異文化が理解できた	
女性	日本	④40代	①楽しかった	子供がとても楽しめていたのでよかった。	
女性	日本	④40代	①楽しかった	屋台の料理がおいしい	子供が世界の遊び場が気に入って、何時間も遊んでいました。おかげで私は屋台とステージをゆっくり楽しむことができました。
女性	日本	④40代	①楽しかった		
女性	日本	④40代	①楽しかった	予約なしで、ふらっと入れるつくりが気軽によかった	
女性	日本	④40代	①楽しかった	子供と一緒に楽しめるイベントだと思います	屋台の食べ物がもう少しリーズナブルだとうれしいです。
女性	日本	④40代	①楽しかった	おいしかった	
女性	日本	④40代	①楽しかった	世界の屋台	
女性	日本	④40代	①楽しかった	交流、文化を知った	
女性	ペルー	④40代	①楽しかった	ハーフのえいがを見てたのしかった	
女性	日本	④40代	①楽しかった	子供たちが楽しそう	Good !
女性	日本	④40代	①楽しかった		アカデミアに来て、あーすぶらぎでいろいろな世界のことをやっているのを知りました。またたびたび来たいし、フェスタにも参加したいです。
男性	日本	④40代	①楽しかった	アイランド、こどもステージが良かった	イベントのスタート時刻が準備やリハーサル等で遅れてしまったのが残念。アイランドステージのスケジュールを周知してもらえるとよりよいと思う。春夏秋冬とICEのステージは盛り上がったと思うので、次回以降参加を期待している。
女性	日本	④40代	①楽しかった	インターナショナルで	
女性	日本	④40代	①楽しかった	いろいろな国の物や食べ物が知れた	
男性	日本	④40代	①楽しかった	いろいろな国の人、食べ物が毎年たのしみ	とても良い企画で、毎回楽しんでます。
男性	日本	④40代	①楽しかった	踊りがよかった	とてもたのしかった。
男性	日本	④40代	①楽しかった		
女性	日本	④40代	①楽しかった		
男性	日本	④40代	①楽しかった	子供がダンスイベントに参加した為	
男性	日本	④40代	①楽しかった	日本と中国の情報交換などと雑談	
女性	日本	④40代	①楽しかった	屋台、ワールドshop	ワークショップもっとふやしてほしい！
男性	日本	④40代	①楽しかった	国際性豊かな食事が出来た	
女性		⑤50代	①楽しかった	いろいろな遊びを知ることができた	
男性	セネガル	⑤50代	①楽しかった		やり方がすごいよかった。もっとがんばりましょう。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	世界のお料理。ふだんあまり知らない国のお店。手作り品等々でその国に感心を持つ。	毎年楽しみにしています。入場無料で踊りを観れることはうれしい。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった		
女性	日本	⑤50代	①楽しかった		
男性	日本	⑤50代	①楽しかった	各国のグルメを楽しめた	外国の方と一緒にイベントはすばらしいと思います。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった		
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	いろんな国の料理が食べられて楽しかった。	毎年、チェックを入れて楽しみにしているの、今後も来たいと思います。

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	毎年来ているので変化もまた楽しい。多文化にふれられる。食事も。	来年はベトナム料理を食べたいです。子どもの遊びなど紹介してください。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	模擬店が増えた。	サバサンド、トルコアイス、台湾のかき氷があると良い。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	めずらしい食べ物がたくさんあり、活気があった	
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	色々な国の催し物や食べ物にふれられたから	外の水の近くの休けい所でごはんを食べながら(日陰)、ゴミ回収の様子を見ていたが、カンカン照りで係りの人がかわいそうだった。見ればテントはあるが、テントの奥には係りの方の荷物、その下にはゴミの袋(これには日が当たってなかった)ごみ袋は外へ出して、ゴミばこをテントの中に入れ、係りの人が日が当たらないようにしてあげてください。クイズラリーの担当の係りの人(高校生?)は去年もそうだったが、とても感じがよかった。またぜひ来たいと思う。プラザホールのイベントはこの国のどんなものが何時からやるのか細かい予定を入口にでも大きく貼り出してほしい。
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	イベントもたべ物もおもしろかった	
男性	日本	⑤50代	①楽しかった	楽しかった	パンフレットにちらしがランダムに入っていて関係が分かりにくかった
女性	日本	⑤50代	①楽しかった	子供があそべる。めずらしい物が食べられる。	
男性	日本	⑤50代	①楽しかった	イベントがよい。食べ物がよい。	又やってほしい
男性	日本	⑤50代	①楽しかった	規模が大きく感激しました	来年も来ます。楽しみにしています。がんばってください。多文化交流のさらなる広がりを期待しています。
男性		⑤50代	①楽しかった	企画が充実していた	
男性	日本	⑥60代	①楽しかった		チラシが、港南区住民なので入りませんでした。来年は知らせてほしいです。
男性	日本	⑥60代	①楽しかった		楽しかった。ありがとうございます。
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	異文化交流	ボランティアの皆様ありがとうございました。
男性	日本	⑥60代	①楽しかった	いろいろな国の人と出会ったから	非常に良かったと思う。私はこの開催を友人にも知らせました。開催関係者の皆様、本当にご苦労さまです。
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	語学レッスン?に体験	
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	食べ物ブースは楽しい。いろいろあってよい。	食べる席もあり、楽しめました。
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	どこでもわくわくします。	体験型“レッツ・ダンス”は席にいて、ナマステ体操、その他もできて楽しかった。毎年、世界のダンスをみたくて行く。朝鮮舞踊がいつもすばらしくて、今回、もう1曲ほしかった。アフリカ太鼓ジャンベ教室がとても、良かった。18日のワールドミュージックが楽しみです。
男性	日本	⑥60代	①楽しかった	地球は広い	来年も開催してほしい
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	アイランドステージなどのパフォーマンスがgood	受付、案内係の対応が良かったと思います。※特に総合受付の素敵な女性が愛想が良かったです。
女性	日本	⑥60代	①楽しかった		
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	世界のめずらしい物が沢山見れました	
女性	日本	⑥60代	①楽しかった	子供がよく遊んだ。音楽演奏もよかった。	
男性	日本	⑦70代～	①楽しかった	珍しい食べ物、踊りが見れた	外国(アジア諸国)の生活スタイルや文化を知る機会となり、大変良い。来年もぜひ参加したい。
男性	日本	⑦70代～	①楽しかった	絵画展が主です。	
男性	日本	⑦70代～	①楽しかった		大変よいフェスタなので続けて実施してほしい。
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	計画が全体的にすばらしい	
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	いろいろなイベントがあって	
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	演奏できたから	譜面が水の中にとんでしまったので、なんとか対策を考えなければ。
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	友人に会えた	
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	旧友に会えた	大勢の人でびっくりした。栄区のお世話する方々に感謝です。
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	旧友にバッタリ会えた	
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	旧友に会えた	アクセサリーを買いました
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	旧友に会えた	

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	⑦70代～	①楽しかった	色々なイベントがあって良かった	家から近いので2日間楽しませて頂きました。ステージ土曜、日曜のフェースマスター最後まで見せていただきました。とてもすばらしく他国の踊り、ししまいなど観られないのがすぐ近くで観られ、親近感がわきました。ありがとうございました。来年も楽しみです。
女性	ハイチ		①楽しかった	J'aVais eu la chance de connectre d'autres cultures.	Ca a ete un reel plousir d'ete ici ou Jourd'hui. J'etais trescontente, Merch infiniment. Carlyne.
男性	日本		①楽しかった	いろいろな国のことを知ることができた	
女性			①楽しかった	食べ物	去年参加した。スパイス作りのイベントが日曜だけだったので、今日参加できず残念だった。
女性	日本		①楽しかった		ラオスの踊り、とてもよかったです。
			①楽しかった		最初の部分、回答なし
女性	日本		①楽しかった	屋台の料理もおいしく、プログラムも良かった。	裏方の皆様ご苦労さまでした。
男性	日本		①楽しかった	屋台村が良い。売店が同国が多い。	この先毎年続けて下さい。
女性	日本		①楽しかった		
	日本		①楽しかった	映画（ハーフ）は良かった	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	館内のお店が減っていて少し残念。	楽しかったです。
男性	日本	①～10代	②まあまあ	食べ物がおいしかった。	ケバブがおいしかったです。
女性	日本	①～10代	②まあまあ		
男性	日本	①～10代	②まあまあ	まったく見ていない	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	毎年出ているフォーが出てなかったから、	もう少し広い所でやった方が行動しやすくていいと思います。
女性	日本	①～10代	②まあまあ		スタンプラリーで景品がもらいたかった。ほかの国の伝統的なもの。もっとにぎやかに！
女性	日本	①～10代	②まあまあ		スタンプラリーで何かもらえるようにしたほうがいいと思います。[例] ゴミでできたおもちゃ。もっと早くから屋台を出したほうがいいです。でも楽しかったです！
女性	日本	①～10代	②まあまあ	お酒と子供が楽しんでいるから。	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	フォーラムでいろいろな話を聞いた	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	クイズラリーが意外と難しかった	ナチョス、あげナンがおいしかったです。
男性	日本	①～10代	②まあまあ	食べ物がおいしかった	
男性	日本	①～10代	②まあまあ	もりあがりがあったよかった	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	まわれなかったからよくわからなかった	
女性	日本	①～10代	②まあまあ	トランポリンが3年生までだったから。あとやたいが全部たかい。	トランポリンが3年生までというのが残念です。屋台が全体的に値段が高いです。クレープはおいしかった。
女性	日本	①～10代	②まあまあ	トランポリンが3年生までだったから	
女性	日本	②20代	②まあまあ		飲食できる場所が日陰に設置されていた点や、ごみの分別場が設けられていた点が大変よかった。
女性	日本	②20代	②まあまあ	もう少し子供が遊べるスペースがあるとうれしい	
男性	韓国	②20代	②まあまあ	色んなもの食べれた	
男性	日本	③30代	②まあまあ	来たのが遅かったので一部終わっていた	今日は来るのが遅かったので、明日はもう少し早く来て楽しませていただきます。よろしくお願いします。
男性	日本	③30代	②まあまあ	来たらほとんど終わっていた	
女性	日本	③30代	②まあまあ	屋台、バザールに期待してきましたが、日本人がやっているところが多くて、あまり本格的な味、品揃えではなかったのが少しがっかりした。	食べ物屋台のコーナーの通路が狭いので、ベビーカーは入場禁止にしてほしい。歩くときに邪魔だし、丼をひっくり返してベビーカーにかかってしまったら危険なので。
女性	日本	③30代	②まあまあ	初めて来ましたが、室内での展示の場所がいまいち。	
女性	日本	③30代	②まあまあ	昔はもっと出展数が多かったような・・・	子供のおこづかいで食事するには少しお値段が高かったかな・・・。
男性	日本	③30代	②まあまあ	途中で来たから	
女性	日本	③30代	②まあまあ		屋内のイベントがやや分かりにくく、見逃してしまった方も多いかなと思います。昨 year 辺りから少し出店が減ってしまったのか、残念です。
女性	日本	③30代	②まあまあ		

性別	国籍	年齢	感想	理由	コメント
女性	日本	③30代	②まあまあ	子連れだったので、混雑して大変	屋台、食べ物の値段が少し高すぎたかなと思いました。募金箱などもあって良いと思います。来年は朝一番で来たいと思います。
男性	日本	④40代	②まあまあ	屋台がよかったがやや高かった	たくさんの発表があるので、それぞれの会場入口にタイムスケジュールがあるといいなと思いました(あるところもありました)。
女性	日本	④40代	②まあまあ		
男性	日本	④40代	②まあまあ	たくさんのイベントがあって全部参加できなくて残念。	
女性	日本	④40代	②まあまあ	来た時間が遅すぎました。	
男性	日本	④40代	②まあまあ	料理がおいしい。	
男性	日本	④40代	②まあまあ		
女性	日本	④40代	②まあまあ		ふわふわの受付終了が早かったのが残念
女性	日本	④40代	②まあまあ	子どもが参加したいイベントがあまりなかった	クイズラリーの場所が変わっていたのを知らずにずっと探していた。ミスのないようにお願いします。渡辺亮さんのサンパ・ワークショップなどやってほしいです。参加費をとってもいいので。
女性	日本	④40代	②まあまあ	雑貨類が少し少なくなりましたか？	
女性	日本	⑤50代	②まあまあ	障がいを持った子供にももう少し楽しめるとよかった。	スタッフ、ボランティアの方がとても感じよく、親切に接してくださった。
男性	日本	⑤50代	②まあまあ		
男性	日本	⑤50代	②まあまあ	ステージを見なかった	日本在住の外国人の方がもっと参加すると面白いのではないかなと思う。屋台の料理は沢山あって充実していると思います。会場、特にイートインコーナーはゴミが少なく、清掃員の方が熱心に清掃してくれていて、とても良かった。清掃が保たれています。
男性	日本	⑤50代	②まあまあ	見たいものを見にきた為	会場の音が上からのみ。サイド等の音源を考慮されたい。
女性	日本	⑥60代	②まあまあ		
男性	日本	⑥60代	②まあまあ		
女性	日本	⑥60代	②まあまあ	終わり間近に来たので少ししか楽しめなかった。	この次は早い時間に来たいと思いました。
男性	日本	⑥60代	②まあまあ	世界文化に接する事ができる	
女性	日本	⑦70代～	②まあまあ	毎年同じようなので珍しさを感じる事がなくなった	あーすぶらざの近くに住んでいるので朝から南米の音楽が聞こえてくるので聞きながら家事をしていましたが、舞台等のライブ感を体験したくなり、足を運びました。
男性	日本		②まあまあ	屋台しか来ていないから	民族衣装を買ってみたい、1万円以下なら。アフリカの料理をもっと食べてみたい。
男性	日本	④40代	③あまり楽しくない	来たら終わっていた	次回は早く来ます
女性	日本	①～10代		いっぱいごはんがあった	すごくおもしろいので、またきたい。
男性	日本	④40代		ダンスに参加してとても盛り上がった	ダンスのショーに参加する団体がより増えると楽しいと思います。
女性	日本	⑤50代			バザールのお店が少なくなった気がします。もっとお店があると楽しい。
女性	日本	⑥60代		ネパールのダンスが明るく、生き生きとしていた	アジアの他国を知るチャンスになる。
男性	日本	⑦70代～			映写中は電気を消してください。映像が半減します。
					たのしかったです。

あーすフェスタかながわ2014 企画委員会名簿

あーすフェスタかながわ2014に携わった企画委員を、部会ごとに紹介します。

●企画委員長・副委員長

役職	氏名	所属団体等
委員長	なかむら 中村ノーマン	多文化活動連絡協議会
副委員長	きむじまわん 金載旺	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部
	ちよんよんそん 鄭榮誠	在日本大韓民国青年会神奈川県地方本部
	トン・アンジー	川崎市国際交流員
	れいけいよう 黎啓榕	横浜華僑総会

●各部会（☆印は部会長です）

○フォーラム部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆ふあんすりよう ☆黄帥烈	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部	かとう かよ 加藤 佳代	あーすぷらざ 外国人教育相談
トン・アンジー	川崎市国際交流員	とくの きなほ 徳野 早苗	あーすぷらざ 多文化共生・情報班
かねこ えみこ 金子 恵美子	シネマアース	きむひよの 金玄虎	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
くす みつお 久須美 光雄	一般ボランティア	こいずみ ゆきこ 小泉 由紀子	JICA帰国専門家連絡会 かながわ
こにし きりこ 小西 永里子	（公財）大和市国際化 協会	ちえんいーじょん 陳玉容	中国絵本を楽しむ会
はつか ゆみこ 八家 由美子	あーすぷらざ 多文化共生・情報班	べいあん 裴安	かながわ外国人すまい サポートセンター
みやた ゆうま 宮田 祐磨	学生		

担当プログラム等

外国籍県民フォーラム『これからの絆～Understanding Your Friends More Deeply 一人一人を見てみよう！～』、人はなぜ歌い、踊るのか…中国55少数民族を訪ねて、

監督トーク 夢をかける第2回リキシャレースを終えて、シネマコレクション 映画『ハーフ』映画上映とゲストトーク

○ワークショップ部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆まえだ あや ☆前田 綾	学生	よしだ えつこ 吉田 悦子	あーすぷらざ 地球学習班

アリヤル・ラクシャ	一般ボランティア	いしかわ かずとも 石川 和友	(公財) 大和市国際化協会
いじよんずん 李楨昇	在日本大韓民国青年会	うめだ れいこ 梅田 玲子	神奈川県立国際言語文化アカデミア
かざま としひこ 風間 聰彦	栄区文化協会	きむ うんじゅ 金 銀珠	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
たいま ともお 當間 智雄	あーすぶらざ 地球学習班	たかはし せいじゅ 高橋 清樹	CEMLA、多文化共生ネットワークかながわ、共学舎
ちやんよんずん 鄭榮誠	在日本大韓民国青年会 神奈川県地方本部	ばくくつうおん 朴國遠	在日本大韓民国民団 神奈川県地方本部
ひの あずさ 肥野 梓	学生	ふじわけ はるき 藤分 治紀	(公財) かながわ国際交流財団
みさわ のりこ 三沢 範子	THE アート・プロジェクト	ヨアヒム シュミット	一般ボランティア

担当プログラム等

せかいの遊び場、せかいのわらべうた（こどものあそび歌）、せかいの絵本の読み聞かせとおはなし、せかいのごあいさつを毛筆で、せかいの音と踊り、せかいのこうさく：いろいろなものを作ってみよう、せかいのスパイス

○交流展示部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆ たかはし あんな 高橋 安奈	学生	ちやうす そ 曹 壽昭	在日本大韓民国民団 神奈川県地方本部
ほんだ れいこ 本田 怜子	あーすぶらざ 多文化共生・情報班	あいざわ こういち 愛澤 孝一	第8期外国籍県民 かながわ会議
かつむら ひろき 勝村 弘樹	学生	たかはし しずお 高橋 鎮雄	港北国際交流ラウンジ
ちやんへいじゅ 張 恵珠	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部	ぬまた みほ 沼田 美穂	神奈川県国際課
ばくよんじゅん 朴勇俊	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部	はらだ しやうへい 原田 翔平	神奈川県国際課
まるたに しづこ 丸谷 士都子	特定非営利活動法人 地球の木	みやもと すみ 宮本 寿美	独立行政法人 国際協力機構 横浜国際センター
むらざし ゆきこ 村岸 由季子	一般ボランティア	れいけいよう 黎啓榕	横浜華僑総会

担当プログラム等

世界とカナガワのつながり、神奈川と世界の架け橋 JICA横浜、外国籍県民かながわ会議ってなかに、外国人学校のこどもたちの絵画展「本の世界」、世界のことばで話してみよう！、民族楽器に触れ

てみよう・民族衣装を着て撮影会、世界一周の船旅、世界の絵はがき、日本とパラオ～歴史を越えた友情、クイズラリー

○パフォーマンス部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆ ^{きむじまわん} 金載旺	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部	^{ひろなか} 廣中 ^{しょうた} 翔太	行政書士・海事代理士
^{いじま} 飯島 ^{あやね} 彩音	川崎市ふれあい館	^{い さんちよう} 李相 哲	特定非営利活動法人 民団国際協力センター
^{いとう} 伊藤 ^{たけかず} 文和	あーすぶらざ 地球学習班	^{いとう} 伊藤 ^{ひろこ} 裕子	あーすネットかながわ
^{いなづみ} 稲積 ^{はづき} 葉月	一般ボランティア	^{うんりょん} 殷 龍 珠	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
^{えんどう} 遠藤 ^{あきら} 晃	一般ボランティア	^{おんようけん} 温耀権	横浜華僑総会
^{こんりょんすん} 孔連順	神奈川朝鮮学園オモニ 会連絡会	^{さきぐち} 関口 ^{やすのり} 康範	(公財) アジア福祉 教育財団 難民事業 本部
^{つのだ} 角田 ^{みさこ} 操子	栄区文化協会	^{はせがわ} 長谷川 ^{あみ} 亜美	バリ舞踊バスンダリ
^{はらだ} 原田 ^{なおまさ} 直真紗	栄区文化協会	^{むらおか} 村岡 ^{こうた} 宏太	栄区民文化センター (リリース)
^{もりた} 森田 ^{せいじ} 誠二	あーすぶらざ 多文化共生・情報班		

担当プログラム等

『レッツダンス!! ～せかいの踊り大集合』、『キラキラこどもステージ ～つなげよう笑顔の輪を未来に～』、『集まれワールドミュージック ～せかいをみんなで感じよう』、アイランドステージ、本郷台駅前パフォーマンス（プレイベント・当日）、フィナーレ

あーすフェスタかながわ 2014 開催経過

1 実行委員会

- 第1回** 日時:2013 年 10 月 30 日 (水) 15:00～16:00
場所: あーすぷらざ多目的室
内容:あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会設置要綱(案)について
実行委員会役員の選出について
あーすフェスタかながわ 2014 実施概要 (案) について
あーすフェスタかながわ 2014 実施予算案 (案) について
- 第2回** 書面表決
内容:実行委員長の選出について
監事の選出について
- 第3回** 日時:2014 年 5 月 7 日 (水) 14:00～15:00
場所:あーすぷらざ多目的室
内容:あーすフェスタかながわ 2014 最終企画 (案) について
あーすフェスタかながわ 2014 補正予算 (案) について
- 第4回** 書面表決
内容:あーすフェスタかながわ 2014 収支決算について
あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会の解散について

2 企画委員会

- 第1回** 日時:2013 年 12 月 16 日 (月) 19:00～21:00
場所:神奈川韓国会館
内容:あーすフェスタかながわの関係組織や実施までの流れの説明
委員自己紹介
屋台・バザールの募集について
- 第2回** 日時:2014 年 1 月 9 日 (木) 19:00～21:00
場所:横浜華僑総会
内容:企画委員長の選出について
副委員長の選出について
部会の設置について
チラシデザインの担当について
本郷台駅前広場の活用について

第3回 日時:2014 年2月 13 日 (木) 19:00～21:00
場所:朝鮮総連神奈川県本部
内容:各部会企画案について
チラシデザインについて
予算について
会計マニュアル及び出演者等の謝礼について
部会協議

第4回 日時:2014 年3月 11 日 (火) 19:00～21:00
場所:横浜華僑総会
内容:予算及び企画について
チラシデザインについて
ボランティアについて
部会協議

第5回 日時:2014 年4月 10 日 (木) 19:00～21:00
場所:神奈川韓国会館
内容:企画について
屋台・バザールについて
ボランティアについて
広報計画について
プロモーションビデオについて
部会協議

第6回 日時:2014 年5月 8 日 (木) 19:00～21:00
場所:朝鮮総連神奈川県本部
内容:最終企画案について
スタッフマニュアル確認
部会協議
懇親会

第7回 日時:2014 年7月 22 日 (火) 19:00～21:00
場所:横浜華僑総会
内容:あーすフェスタかながわ 2014 振り返り

3 各部会

(1) フォーラム部会

- 第1回 日時:2014 年1月 21 日 (火) 19:00～21:00
場所:かながわ県民センター
内容:部会で行う企画の内容、実施日について
上映候補映画の試写会日時決定
- 第2回 日時:2014 年2月 25 日 (火) 20:00～20:50
場所:かながわ県民センター
内容:予算について
タイムスケジュールについて
必要な人員について
広報について 等
- 第3回 日時:2014 年3月 18 日 (火) 19:00～21:00
場所:かながわ県民センター
内容:出演者について
タイムスケジュールについて
必要な人員について 等
- 第4回 日時:2014 年4月 17 日 (木) 19:00～21:00
場所:かながわ県民センター
内容:進行について
外国籍県民フォーラムパネリスト打ち合わせについて
広報について
必要備品について 等
- 第5回 日時:2014 年5月 13 日 (火) 19:00～21:00
場所:かながわ県民センター
内容:企画の最終調整
- 第6回 日時:2014 年6月 3 日 (火) 19:00～21:00
場所:かながわ県民センター
内容:あーすフェスタ 2014 の振り返り

(2) ワークショップ部会

第1回 日時:2014 年1月 29 日 (水) 19:00～21:00

場所:かながわ国際交流財団

内容:来年度企画案出し
企画担当決め

第2回 日時:2014 年2月 27 日 (木) 19:00～21:00

場所:かながわ国際交流財団

内容:各企画の検討・調査
予算について
控え室について
スタンプラリーについて

第3回 日時:2014 年3月 28 日 (金) 19:00～21:00

場所:かながわ国際交流財団

内容:講師の車について
講師の食券について
チラシについて
プログラムの原稿について
ボランティアの人数について

第4回 日時:2014 年4月 16 日 (水) 19:00～21:00

場所:かながわ国際交流財団

内容:企画案の最終決定
使用物品、消耗品について
スタンプラリーについて
クイズラリーについて
チラシについて

第5回 日時:2014 年6月 12 日 (木) 19:00～21:00

場所:かながわ国際交流財団

内容:あーすフェスタかながわ 2014 の振り返り

(3) 交流展示部会

第1回 日時:2014 年1月 27 日 (月) 19:00～21:00

場所:かながわ県民センター

内容:これからの方針について

企画について

今後の活動について

第2回 日時:2014 年2月 18 日 (火) 19:00～21:00

場所:かながわ県民センター

内容:企画について

展示全般について

会計担当の設置、予算、必要人数、物品についての確認

第3回 日時:2014 年3月 17 日 (月) 19:00～21:00

場所:あーすぷらざ

内容: 企画案の配置、企画間の調整について

企画担当者、ボランティア等について

第4回 日時:2014 年4月 14 日 (月) 19:00～21:00

場所:かながわ県民センター

内容:各企画について

部会PRチラシ・ハレパネについて

フェスタPVについて

各備品について

作業及び作業日について

第5回 日時:2014 年5月 28 日 (水) 19:00～21:00

場所:あーすぷらざ

内容:あーすフェスタかながわ 2014 の振り返り

(4) パフォーマンス部会

第1回 日時:2014 年1月 28 日 (火) 19:00～21:00

場所:あーすぷらざ

内容:会場の確認

2日間のテーマについて

ステージ内容について

次回までの確認事項

第2回 日時:2014 年2月 28 日 (金) 18:00～20:00

場所:かながわ県民センター

内容:出演者交渉状況の確認

2日間の日程、内容、担当について

第3回 日時:2014 年3月 26 日 (水) 19:00～21:00

場所:神奈川韓国会館

内容:ホールステージの確認

アイランドステージの確認

駅前企画について

企画委員の当日及び今後の役割

第4回 日時:2014 年4月 18 日 (金) 18:30～19:30

場所:神奈川韓国会館

内容:フィナーレについて

テーマソングの多言語化について

テーマソング歌詞カードについて

DVDで使用する写真について

プレイベントについて

第5回 日時:2014 年6月 4 日 (水) 18:30～21:00

場所:神奈川韓国会館

内容:あーすフェスタかながわ 2014 の振り返り

あーすフェスタかながわ2014収支報告書

1 収入の部

(単位:円)

項目	当初 予算額	補正 予算額	補正後 予算合計(a)	決算(b)	増減 (b-a)	摘要
主催者負担金	1,200,000	▲ 82,000	1,118,000	1,118,000	0	
あーすネット	200,000	0	200,000	200,000	0	
かながわ けん 神奈川県	600,000	18,000	618,000	618,000	0	
JICA	400,000	▲ 100,000	300,000	300,000	0	
協賛金	1,325,000	205,000	1,530,000	1,530,000	0	
出店協力金	690,000	0	690,000	704,435	14,435	屋台、バザール出店者からの出店料
繰越金	313,316	0	313,316	313,316	0	あーすフェスタ2013からの繰越金
雑収入	40,000	0	40,000	13,902	▲ 26,098	ワークショップ参加費、銀行利子等
合計	3,568,316	123,000	3,691,316	3,679,653	▲ 11,663	

2 支出の部

(単位:円)

項目	当初 予算額	補正 予算額	補正後 予算合計(a)	決算(b)	増減 (b-a)	摘要
会場設営費	1,000,000	0	1,000,000	953,964	▲ 46,036	テント・会場装飾品借用料等
プログラム運営費	1,565,000	0	1,565,000	1,475,196	▲ 89,804	ゲスト謝金、機器・什器レンタル料、消耗品等購入、チラシ・ポスター等
全体運営費	880,000	123,000	1,003,000	918,356	▲ 84,644	保険料、ボランティア昼食代等
事務局運営費	123,316	0	123,316	63,375	▲ 59,941	連絡通信費、その他事務経費
繰越金	0	0	0	268,762	268,762	あーすフェスタかながわ2015への繰越
合計	3,568,316	123,000	3,691,316	3,679,653	▲ 11,663	

あーすフェスタかながわ 2011 及び 2012 において、ステージ部会の尽力により、2 年がかりで、あーすフェスタの公式テーマソングが製作されました。

あーすフェスタかながわ 2011 に tomoko さんによる素晴らしい楽曲が完成、あーすフェスタかながわ 2012 に歌詞を公募し、47 作品の中から選ばれたのが、刈川圭祐さん作の「世界をつなぐ奇跡」でした。
※このテーマソングは、あーすフェスタかながわのホームページで視聴できます。

→ <http://www.earthplaza.jp/earthfesta/themesong.html>

あーすフェスタ^{こうしき}公式テーマソング

せ かい き せ き
「世界をつなぐ奇跡」

さくし かりかわけいすけ さつきよく と も こ
作詞：刈川圭祐 作曲：tomoko

いま あつ たからもの
今ここに 集まった それぞれの 宝 物

ひと みな ちが たが あい
人は皆 違うから お互いを 愛せるの

めぐ あ きせき
巡り逢えた この奇跡

わたし つつ やさ えがお
私 たちを包んで 優しい笑顔になる

おし わたし おし
あなたのこと教えて 私 のこと教えよう

いませかい つな
今世界がここで 繋がる

ばしょ う ことば かな
どんな場所で 生まれたの どんな言葉 奏でるの

ふ し ぎ ちが に かん
不思議だね 違うのに 似ていると 感じるの

めぐ あ きせき
巡り逢えた この奇跡

おく なか ちい かがや
70億の中で 小さく 輝 いている

ことば おも つた
言葉にできなくても 想いは伝わるから

いませかい つな
今世界をここで 繋げよう

い て わたし ともだち
さあ行こう 手をつなぎ いつまでも 私 たちは友達

いませかい つな つな
今世界をここで 繋げよう 繋がる

あーすフェスタ かながわ2014

EARTH FESTA KANAGAWA
みんなで育てる多文化共生

MAY 5月 17日 SAT
18日 SUN
10:00~17:00



あーすフェスタは屋台、バザール、フォーラム、民族楽器、体験型ワークショップなど世界各国の文化を通して多文化共生を考えるイベントです。

Earth Festa is an event where multiculturalism is considered through food stalls, bazaars, forum, ethnic music and experience-based workshops from and regarding various cultures around the world.

地球节就是一个通过世界小吃村、世界各地民族工艺品市场、主题论坛、世界民族乐器、体验型主题讲座等等的世界各国文化而达到的多文化共生的活动。

Earth Festa é uma festa para pensar sobre a convivência multicultural através dos workshops, apresentação músicas e danças de vários países, barracas de comida internacional, fórum de moradores estrangeiros, e outras atividades.

Earth Festa es una fiesta multicultural que promueve la convivencia entre extranjeros y japoneses, a través de presentaciones de baile y música, actividades de taller, venta de comida y artículos artesanales, y foro de residentes extranjeros, etc.

어스페스타는 포장마차, 마작, 포럼, 민족악기, 체험형 워크숍 등 세계각국의 문화를 통하여 다문화공생을 생각하는 이벤트입니다.

●あーすフェスタかながわ2014実行委員会

あーすネットかながわ 公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部 外国人学校ネットワークかながわ 神奈川県
神奈川県立国際言語文化アカデミア 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ） 公益財団法人かながわ国際交流財団
特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会 クメールボランティア協会 独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
小菅ヶ谷連合町内会自治会 在日本大韓民国民団神奈川県地方本部 在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
特定非営利活動法人在日本ラオス協会 栄区文化協会 公益社団法人青年海外協力協会 第8期外国籍県民かながわ会議
多文化活動連絡協議会 特定非営利活動法人地球の木 横浜華僑総会 横浜市栄区民文化センター（リリス） 横浜市栄区役所

●お問い合わせ「あーすフェスタかながわ2014実行委員会」共同事務局

神奈川県県民局くらし県民部国際課企画グループ TEL 045-210-3748(土日休み)
公益社団法人青年海外協力協会 TEL 045-896-2121(月曜休み)



入場無料

あーすフェスタ

<http://www.earthplaza.jp/earthfesta/>



『※ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。マイバッグ・マイはしの持ち込みを歓迎します』

あーすフェスタかながわ 2014

ボランティア 急募します！

5/17(土)18(日)

5/14・5/15・5/16の事前ボランティア也大募集！

開催場所

地球市民かながわプラザ
(あーすぷらざ)

リリスホール

JR 根岸線本郷台駅徒歩3分

facebook

twitter

フォローお願いします

世界中の文化
を知りたい！
楽しみたい！

世界の屋台
を食べて楽しく
ボランティア
したい！

多文化共生
をもっと学びたい

いろんな国の人と
たくさん
おしゃべりしたい！

- 作業時間
- ① 9:45～13:30
 - ② 13:30～17:00
 - ③ 終日(休憩あり)

※③のみ時間が短縮される
場合もございます

■ 当日作業内容

ステージの補助
イベントの受付他
イベントの補助

(※企画委員と一緒に楽しみながらお手伝いください)

■ 事前準備ボランティア

開催当日まで事前準備のお手伝い
(※申込のフォーマットに事前準備をご希望ください)

■ 応募方法

あーすフェスタかながわ 2014 ホームページのボランティア応募用紙をダウンロードし、メール添付にてご応募ください。配置場所及び集合時間などは4月末頃にメールにてご連絡いたします。※4月末までに返信メールがない場合は、お手数ですがお電話にて事務局までお問合せください。

■ 参加特典

開催日当日の「世界屋台村」昼食券(500円分)をプレゼント！

ただし交通費などの支給はございませんのであらかじめご了承ください。
また学生の方はご希望の方のみ「活動証明書」を発行いたします。

■ お問い合わせ・連絡先

あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会事務局◆(公益社団法人) 青年海外協力協会 ボランティア担当宛

TEL 045-896-2121 Email v_staff@earthplaza.jp

あーすフェスタかながわ 2014

屋外マップ

1 ~ 31 ワールドバザール

各国の民芸品の販売、民族団体、国際交流・協力団体の活動紹介展示など

1 ~ 27 世界屋台村

世界各地のエスニック料理をどうぞ！
主にかながわで活動する民族団体、国際交流・協力団体やレストランが出店

飲食コーナー

リサイクル
容器回収所



水道 ISGAHE PORKHORI

クントゥル ラテンアメリカ
カルチャー プラン

(株)メルヘン

RYUTA-COS KITCHEN

在日大韓民国婦人会
神奈川県湘南西支部
(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK

クメールボランティア協会

(特活)地球の木

インドネシア人家族の会

(特活)在日本ラオス協会

在日本朝鮮青年同盟
湘南西支部

HAYA-HAY

本場ベルジャ料理クーチェ

(株)タヒチプロモーション

大船チャンプル

JUMPA横浜NPO国際交流会

横浜コンスタンツァ友好委員会

ラテン文化センター

ブラジル移民支援グループ
イン神奈川

(特活)カンボジアの
教育を支える会

スタンディングケバブ
トニー食品

エスクエラ・デ・
エス/ニョール

パオパブの会

青年海外協力隊
神奈川県OB会

アイランドステージ

11:00~16:00

※雨天時は1Fラウンジにて開催

2階アプローチデッキ

ワールド・バザール

10:00~16:00

※雨天時は2Fの展示コーナー周辺

LOS ANDES ①

シンチャオ ②

(特活)ふれんどしっぶ ASIA ③

(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK ④

神奈川県ユニセフ協会 ⑤

印度支那倶楽部 ⑥

カンボジア母国語を保证する会 ⑦

ヘナボディアート MEW ⑧

パバ・アフリカ ⑨

チームピースチャレンジャー ⑩

大和支部 ⑪

HAYA-HAY ⑫

チニース ⑬

コポトッコ・バングラデシュ ⑭

アンデス音楽グループMACHUPICCHU ⑮

⑮ パオパブの会

⑯ 国連ウィメン日本協会よこはま

⑰ パリパール

⑱ ソープカービング体験教室

⑲ アジアの女性と子どもネットワーク

⑳ スリランカ雑貨のラクリヤ

㉑ ANAN'Sキッチン

㉒ アマゾンカムカム・ヨコハマ

㉓ あめ細工

㉔ (特活)ピラーンの医療と自立を支える会

㉕ (特活)地球の木

㉖ (特活)イーグル・アフガン復興協会

㉗ LUVENTO

㉘ BorDer Japan

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

㊿

池の周辺

世界屋台村

11:00~16:00

ふあふあ ※小雨決行

17日 11:00~16:00

18日 10:30~15:30

リサイクル容器の回収

重ねず回収所へお持ち下さい。

※おタバコは 喫煙コーナー
をご利用下さい。

ご協力をお願い致します

総合案内

みんなで食べよう！

世界屋台村

sekai yatai mura

この度はご来場いただきありがとうございます。ご使用いただきましたリサイクル容器は、リサイクル容器回収所にご持参いただくようご協力よろしくお願いします。回収場所は裏面のマップをご覧ください。
★マイ箸・マイバック大歓迎です！

① りょうり かい アジア料理の会



- タイカレー
- ガバオガイ

美味しいタイ料理を是非ご賞味下さい！！

② ASIA SIAM FOOD アジアサイアムフード



- パッタイ
- カバオライス

日本国内のタイイベントにも多数出店しており、本場のタイ料理を新鮮な食材で提供しております。

③ ワルンスレラ



- ミーゴレン
(目玉焼き付)
- アヤムバン
ガンライス

インドネシアのシェフが本場の美味しい食材、調味料を使い腕を振るいます。

④ ISGAHE PORKHORI (イスガヘ ポルホリ)



- 串ケバブ
- ソーセージ

食べ物を通じて国の文化を紹介します。

⑤ クントゥル ラテンアメリカ カルチャー ブラン



- タコス
- ビーフタコス

ラテンアメリカの文化を楽しんで下さい。明るい音楽・楽しい踊りそしておいしいお料理と共に。

⑥ かぶ (株) メルヘン



- やきそば
- クレープ
(アメリカン
タイプ)

横浜市内に8店のレストランを展開。カレーライス、ハンバーグ等の洋食を中心としたメニューなど、幅広い年齢層のお客様から人気です！

⑦ RYUTA-COS KITCHEN リュウタコスキッチン



- ファフィータ
- メキシカン
バーベキュー

メキシコ料理のファフィータ、メキシカンバーベキューをメインにしたメニューを提供致します。

⑧ ざいにちだいかんみんこくふじんかい 在日大韓民国婦人会 かながわけんしょうなんせいしふ 神奈川県湘南西支部



- ホットク
- トッポッキ

韓国の文化を紹介するボランティアなどで、料理や韓国語を教えたりしています。韓国家庭料理を通して食の文化交流をもっと親密にしていきたいです。

⑨ とっかつ ちきゅうしめん (特活) 地球市民 ACT かながわ /TPAK



- タイラーメン

タイラーメンを食べて国際協力！毎年完売必至タイラーメンです！お早めに！

⑩ クメール きょうかい ボランティア協会



- カンボジア
ラーメン
- 焼き
トウモロコシ

これぞカンボジア料理！「ラーメン」は、麺も味つけもカンボジアです。「焼きトウモロコシ」はカンボジア特産のココナツミルクを使います

⑪ とっかつ ちきゅう き (特活) 地球の木



- ちぢみ

今年も地球の木の「おいしいちぢみ」出店いたします。

⑫ インドネシアじん 家族の会



- ナシ・ゴレン
- オポロ・アヤム

食べる、交流、楽しく！

⑬ とっかつ ざいにほん (特活) 在日本 きょうかい ラオス協会



- カオプーン
(ラオスそうめん)
- クワミー
(ラオスやきそば)

これぞラオス料理！一番おすすめは「熱々そうめん」と「熱々うどん」です。ラオス独特の味です。また「ラオス焼きそば」も子どもたちに大人気です。

⑭ ざいにほんちようせんせいねんどうめい 在日本朝鮮青年同盟 しょうなんせいしやうしふ 湘南西湘支部



- ブルコギ丼
- チヂミ

日本に暮らす朝鮮青年達のネットワーク作りのための各種イベントや学習会、サークル活動を行っています。

⑮ はや はい HAYA-HAY



- カレー
(ナン付)
- マンゴー
ジュース

現地赴任の青年海外協力隊から引き続いてきた活動のビジネス化にチャレンジするグループです。

⑯ ほんば りょうり 本場ペルシャ料理 クーチェ



- シシカバブ
- ジェジェ
カバブ

サフランの風味豊かな本場ペルシャ BBQ です。牛・鳥・ラムの3種類をご用意してお待ちしています！！

⑰ かぶ (株) タヒチ プロモーション



- ヒナノビール

タヒチの最もポピュラーなビール「HINANO」をお気軽に楽しめる価格で提供します。

⑱ おおふな 大船チャンプル



- 沖縄そば
- オリオン
ビール

はいさい！！大船チャンプルやいびーん。アチコーコー沖縄そばとスパイスカレーと泡盛、オリオンビールでかりーさびら。ゆたしく〜！！

⑲ よこはま JUMPA 横浜 NPO こくさいこうりゅうかい 国際交流会



- ナシゴレン
- ミゴレン

インドネシアの代表的な家庭料理を提供し、食文化を紹介。合わせて写真等によりインドネシアの自然や文化の紹介を行います。

⑳ よこはま 横浜コンスタンツァ ゆうこういんかい 友好委員会



- ルーマニア
ワイン
(ボトル・グラス)

ルーマニアのワインを直輸入し、食文化の紹介と、横浜の姉妹都市コンスタンツァの紹介を計っています。

㉑ ふんか ラテン文化センター



- バエリア
- カルツォネ

バエリアを食べにきて下さい。

㉒ いみんしえん ブラジル移民支援 かながわ グループイン神奈川



- ブラジル
パステル
- ブラジル
ソーセージ

ブラジルのパステルは小麦粉で練った皮の中にチーズや牛肉ミンチを入れて揚げました。ブラジルのソーセージは豚生フランクパブリカ使用で炭火で焼きます。

㉓ とっかつ (特活) カンボジアの きょういく ささ 教育を支える会



- Moi Pi 麺
(モイビー麺)
- 烏龍茶

カンボジアの初等教育を支援する団体で、特別授業や井戸衛生支援などを行っています。

㉔ スタンディング ケバブ トニー食品



- ドネルケバブ
- シシケバブ

中東・ヨーロッパ周辺のファーストフードなどさまざまな珍しい食べ物を提供いたします。

㉕ エスクエラ・デ・ エスパニョール



- チョリソ
- チキンソテー

エスクエラ・デ・エスパニョールのママたちが心をこめて作ったおいしい料理をたっぷり楽しんで下さい。

㉔ バオバブの会



- マフェ
- ヤッサ

セネガル人会長が作るセネガル料理の一皿で、セネガルの子どものための教育支援を！

㉔ せいねんかいがいききょうりょくたい 青年海外協力隊 かながわけん 神奈川県OB会(KOCV)



- ナチョス
- コーヒー

メキシコ料理と中南米コーヒーの販売と同時に、応募・企画・出前講座などの相談コーナーもあります。

ワールド・バザール出展一覧

1 LOS ANDES (エクアドル) 南米エクアドルのオタパロ族による手作り品のフェアトレード。稀少・良質かつ安価です。 エクアドル ●衣料品●装身具●バッグ類●その他	2 シンチャオ ベトナムの主に手作り民芸品、工芸品を展示・即売することによって、ベトナムの文化・風土・歴史を紹介し交流を図ります。 ベトナム ●手作り民芸品（ビーズ・キーホルダー・マスク・刺しゅうバッグなど）	3 とっかつ (特活) ふれんどしゅぷ ASIA フィリピン農村、障がい者、北タイ山岳民族、タイ日国際児への教育支援、交流活動です。 フィリピン・タイ ●フィリピン・タイ支援先の手作り雑貨 ●自然栽培コーヒー●スカーフ	4 とっかつ ちきゅうしん (特活) 地球市民 ACT かながわ /TPAK お買物で国際協力！地球市民ACTかながわでは、アジアのフェアトレード品販売で子ども達の支援につなげます。 タイ・ミャンマー・インド ●タイ草木染めフェアトレード品 ●ビーズフェアトレード品
5 かながわけん きょうかい 神奈川県ユニセフ協会 世界の子どもの現状と、ユニセフの活動を報告します。 ユニセフ活動報告パネル（写真） ●広報資料配布	6 いんどしなくらぶ 印度支那倶楽部 NPO・NGO 組織が入っていないアジア近隣部、主に山岳少数民族及び農村部の手織物衣料・生活道具の紹介 アジア ●アジア山岳少数民族の生活道具衣料 ●手織絹・手織綿●タイ・OTOP 製品	7 ぼくごく かんぽジア母国語を 保証する会 現地で貧困センターにいる女性が就職・自立するため支援しています。出店の売上は現地に活動資金としています。 カンボジア ●カンボジア民芸品●カンボジア現地で作ったシルク、スカーフ、カバン、財布、ミサンガ●貧困センターが作った民芸品	8 ヘナボディアート MEW ヘナアートはインドやパキスタン等の伝統文化。天然染料ヘナをベースに、肌にフリーハンドで美しい模様を描いていきます。（1～2週間程度） ●ヘナボディアートの体験 500 円～ ●ヘナアート雑貨、ミサンガの販売
9 ババ・アフリカ 洗練された色使い、遊び心のあるデザイン。アフリカンアートの世界へようこそ！ アフリカ ●絵画●アートフレーム●アクセサリ●衣服	10 チーム ピース やまとしゅ チャレンジャー 大和支部 インド、貧困で学校給食プロジェクトと女性の職業訓練プロジェクトを行っています。 インド・バングラデシュ ●ミサンガ、ストラップ、ネックレス ●バングラデシュ、Tシャツ●コーヒーなど	11 はや はい HAYA-HAY 現地赴任の青年海外協力隊から引き継いできた活動のビジネス化にチャレンジするグループです。 フィリピン ●フィリピン・ネグロス島 小麦粉袋とそのプロダクト●世界各地の種の装飾品	12 チニース インド料理で使われるスパイスを主に販売しています。たくさんの種類をお安くお求めいただけます。お待ちしています。 インド ●スパイス●菓子●レトルトなど食品
13 コボトッコ・バングラデシュ バングラデシュ洪水被災地の住民を支援する目的で設立。売上は女性達の生活費及び子供の学費に繋がっています。 バングラデシュ ●洪水被災地女性たちの手作り品 ●バングラデシュの文化を紹介できる商品	14 おんがく アンデス音楽グループ MACHUPICCHU 本場のfolkloreをぜひ肌で感じてください。楽器、民芸品も手にとってご覧ください。 ペルー ●民族楽器（ケーナ、オカリナなど） ●民芸品（バッグ、しきもの）●民族音楽 CD	15 こうしがいしゅ 合資会社 オフィス五タラント はちみつで製菓！日本ではなかなか食べれないマンゴーのはちみつ、マラウイハニー マラウイ共和国 ●マンゴーのはちみつ マラウイハニー	16 とっかつ (特活) JUNKO Association ベトナムとミャンマーで雑貨を買い付けています。オリジナル商品も開発しています。 ベトナム・ミャンマー ●雑貨・食雑貨類
17 アンデス・アルテ 南米ペルーより直輸入！カラフルで楽しいフェアトレード雑貨をご紹介します。 ペルー ●オカリナ●民族楽器●ひょうたん細工●手刺繍・アププリケの子供服●その他	18 かい バオバブの会 セネガルのお母さん手作りのバッグや絵本の購入で、セネガルの子どもたちの教育支援を！ セネガル ●アフリカンプリント布バッグ、ポーチ ●アフリカ関連絵本、児童書●ジェンベ	19 こくれん 国連ウィメン日本協会 よこはま ジェンダー平等、女性のエンパワメント、女性に対する暴力をなくすことを目的とした資金集めをしています。 アジア ●スカーフ類・洋服●バッグ類 ●アクセサリ類●小物類●紅茶、塩	20 パリバール バングラデシュの民芸品・フェアトレード品などを販売いたします。 バングラデシュ ●衣類・アクセサリ・バッグ・置きもの・布・リボンなど
21 ソーパークーピング たいけんきょうしゅ 体験教室 ソーパークーピングはタイの伝統工芸で、ナイフ一本でオリジナルの織物で美しく、華やかな作品を作ることができます。 タイ ●ソーパークーピング体験教室 ¥300 ●つくった作品はお持ち帰りいただけます。	22 じょせい こ アジアの女性と子ども ネットワーク 山岳民族の伝統的な刺繍等を使用したグッズ、ストリートチルドレン保護施設の子供たちが作ったアクセサリ等●山岳民族の村の女性たちが織ったブックカバーほか アジア ●AWC 紹介パネル●ストリートチルドレン保護施設の子供たちが作ったアクセサリ等●山岳民族の村の女性たちが織ったブックカバーほか	23 ざっか スリランカ雑貨のラクリヤ スリランカの女性の文化に惚れ込んだオーナー2人によるスリランカ雑貨専門ショップ スリランカ ●サリー雑貨●コットン製品●キッチン雑貨 ●スリランカカレーキット●紅茶・スパイスティー・ビスケット●ポストカード	24 ANAN'S キッチン 様々な国の料理、アートを通じて皆様とワークショップの中でコミュニケーションを広げたいです。 ●女川カレー●カレー粉 ●オリジナルスパイス
25 アマゾンカムカム・ヨコハマ 南米アマゾン流域で取れる、または栽培される農作物を日本国内で販売する事で支援する。 ペルー ●カムカムジュース・キャンディ、健康茶等 ●ペルーの衣料や民芸品●多文化の民芸品や装飾品	26 さいく あめ細工 日本の伝統芸能・あめ細工。一本一本手作りで自派します。 日本 ●手作り あめ細工	27 とっかつ (特活) ビラーン の医療と 自立を支える会 豊かだった森で育まれた伝統技能、フィリピン・ミンダオ島先住民族による草木染めの織物やバッグ・小物などをお楽しみください。 フィリピン ●活動展示●糸芭蕉（アバカ）の織物を草木染め・手織りしたディナラク織、ナバレタビ織とその織製品他	28 とっかつ ちきゅう き (特活) 地球の木 カンボジアで手織りされたシルクのスカーフや小物。ラオスの手刺繍のポーチやペンケースなど。 カンボジア・ラオス ●シルクスカーフ・シルクの小物 ●手刺繍の小物
29 とっかつ (特活) イーグル・アフガン復興協会 アフガニスタンの女性や子どもたちへの支援で物資や教材の提供やアフガニスタンの文化の紹介などを行っている。 アフガニスタン ●音楽CD●アフガニスタン紹介文 ●民話●子供の写真●本の販売	30 LUVENTO 藤沢市臨沼海岸にてアジア・アフリカのウエア・雑貨の店を運営しています。売り上げの一部を各国に還元したり、スポーツ用具などを援助しています。 アジア・アフリカ ●ウエアを中心とする布関係商品●ハンドメイドのバッグ類●天然素材のテーブルウエア●木製の人形・雑貨など	31 BorDer Japan バングラデシュのあそび「ケランボード」。電気もネットも不要。ハマると楽しいよ。 バングラデシュ ●ケランボード（※一部販売）を体験しよう！ ●ランギー（バングラ製）の布 販売	



レッツダンス!!

～せかいの踊り大集合～

横浜市栄区民文化センターリリスホール
入場無料(入退場自由) 司会 佐々木奈緒子

5.17 sat

14:00 開演

13:30 開場

『レッツダンス!!』を合言葉に、観客の皆さんにもステージに参加してもらう参加型ステージです。色々な国の踊りを通して国際交流を図り、その国を感じてみてはいかがでしょうか。多くの方々のご来場をお待ちしています。

島根県安来節保存会 東京支部 栄教室 安来節

私達は島根県安来節保存会東京支部 栄教室として安来節、民謡、和太鼓を月2回練習しています。体全体で表現し、良い運動になっています。依頼がありますと福祉施設、町内会イベント等に参加させていただき日頃の成果を披露させていただいています。栄区文化協会に在籍し、秋の芸術祭、春の文化祭でも人気演目として観客に喜んでいただいております。見つけたドジョウを取る姿、逃がしたドジョウを見つける仕事、ヒルにさされて痛い顔を見てください。

神奈川朝鮮中高級学校 舞踊部 朝鮮舞踊

私たちは舞踊部は、民族舞踊をこよなく愛する高1から高3までの9人からなる部活です。日本の地で生まれ育ちながらも、朝鮮舞踊を通じて民族の心を育み、たくさんの同胞や日本人の方の前で舞踊を披露し、朝鮮舞踊の素晴らしさを広めています。多文化共生のために行われているあーすフェスタには毎年参加しており、その他にも日本学校の交流祭など活躍の場を広げています。

エソダ・バスネット ネパールダンス



ネパールダンスは2012の春から始めましたさやかなダンスグループです。ネパールとネパールの文化が大好きな日本の方々や代表者のエソダ・バスネットが、恵比寿でスタジオにてレッスンを行っています。このダンスグループは、ネパールの女性が仲間と一緒に楽しむ民族舞踊を中心とした、フォークやポップダンスを練習しています。ネパールダンスの特徴は、楽しいところ、笑顔になれること、そして優れることです。

バスンダリ バリ舞踊



神奈川県湘南地区で活動するバリ舞踊グループバスンダリ。バスンダリとは大地の女神の意味。元々、バリ舞踊はお寺で奉納として踊られ、日常の感謝と祈りを捧げています。今回は水鳥の舞「プリビス」を披露します。皆さん一緒にバリ風の鳥になって踊ってみましょう。

Aha3de ガーナダンス



『Aha3de』は、音楽と映像、ダンスを融合させた独自のパフォーマンスグループです。地球の裏側に位置する「ガーナ」を参加者自身が目で見て、耳で聴いて、心で感じる。元青年海外協力隊と本場ガーナ人が、そんなパフォーマンスを披露します。

アイランドステージ 5/17.18 11:00 ~ 16:00

屋外にあるアイランドステージでは、MC BETO による生ラジオや Karaoke、伝統衣装によるファッションショー、音楽、踊りなど多彩なプログラムを見ることができます。お楽しみに!



司会 MC BETO

特別ゲスト 刈川佳祐 (あーすフェスタかながわテーマソング「世界をつなぐ奇跡」作詞者)

出演 アロハマーメイド(フラダンス)、インドネシア人家族の会(インドネシア、西ジャワの民族音楽)、小田原ディジュミ(アポリジニー民族音楽)、ICE INTERNATIONAL(HIP HOPパフォーマンス)、国際アラビアンダンス ラズベリーチーム(ベリーダンス)、メラニ(ハワイアン)、NPO民団国際協力センター(サムリノリ)、バスンダリ(バリ舞踊) 他

キラキラ こどもステージ

～つなげよう笑顔の輪を未来に～

2014.5.18 sun 11:10 開場 11:30 開演

横浜市栄区民文化センターリリスホール 入場無料 (入退場自由)

出演者 Profile

ダガットクラブ



ダガットクラブは、川崎に住む在日フィリピン人2世のこどもたちのためのつなりの場です。毎週土曜日、川崎区にあるふれあい館に集まっているので、大人もこどもも、興味のある方はぜひ遊びに来てください。

エスコラ・アクアレラ



当園では、日本、アメリカ、ブラジル、ペルーなどの様々な国籍のこどもが通っています。小さな頃からグローバルな環境に身を置くことが、小さな頃から外国語を学習する以上に、こどもの自由な心を育みます。マルチカルチャー（多文化）ならではの楽しい雰囲気は是非一度体験しにいらして下さい！

光菊会



本日出演させて頂きますこども達は、栄公会堂が主催しています「日舞こども教室」でお稽古を重ねています。挨拶の仕方から始まり、着物を着た時の歩き方など基本からお稽古しています。今では、着物を着る方も少なくなりましたが、日本古来の伝統芸能であります日舞にこども達が少しでも興味を持って頂けたら幸いです。

ICE INTERNATIONAL & WES DANCE SCHOOL



ICE INTERNATIONAL は、日本の学校でダンスと英語が必須になったことから、(株)ITZとして、新しいスクールをオープンしました。英会話やダンスと、いくつも習いにいかずに済む、英語で指導するダンススクールです！今日は本場アメリカのHIP HOPをベースにしたステージをお見せします！

ダイアナ石山SONG&DANCE ミュージカル教室



劇団四季『キャッツ』初演公演で入団、出身のダイアナ石山が、1989年より都筑区(当時緑区)にて主宰。英語で歌い・踊り・台詞を語る手法を通して英語が好きになることがモットーです。教室発表会や地域のイベントに参加して表現・発表力を養い、英語とミュージカルの知識・技術を楽しく習得しています。 Enjoy the Show !!

あーすフェスタかながわ2014ステージプログラム

集まれ! ワールド ミュージック

～せかいをみんなで感じよう～

2014.5.18 sun 14:00 開場 14:10 開演

あーすぶらざ プラザホール 入場無料 (入退場自由)

スペシャルゲスト tomoko

あーすフェスタ公式テーマソング「世界をつなぐ奇跡」の作曲・アレンジを手掛けた、地元栄区出身の実力派シンガーソングライター。横浜、東京を拠点に音楽活動を展開。

海老名東柏太鼓

相模国、悠久の流れ相模川を懐に抱き、恵まれた自然の地、市場の開場を知らせる太鼓をすえたと伝えられる大谷太鼓塚のあるまち、海老名に1980年、海老名東柏太鼓は誕生しました。また、2000年には、海老名郷土芸能文化奨励団体第一号として認定を受けました。

Duo Pao De Queijo

ミルトン・ナシメントの故郷ミナス・ジェライス出身。思いやりや心の優しさがあふれているヒューマンな歌声で多くのファンを獲得している男性サンバ歌手。Marquinhos Ramos と Silvio Anastacio の二人組のサンバグループ。

NPO国民国際協力センター

韓国には古くから、「農楽」という大衆伝統芸能が農村地方に伝わっており、豊作を祈り、祝う時に打楽器を叩いてにぎやかに踊るのが「農楽」です。サムノリは、この農楽で必ず用いる四種の伝統打楽器を用い、農楽のリズムを現代風にアレンジし座って奏でます。

アンデス音楽グループMACHUPICCHU

私たちは、南米ペルーの出身です。アンデス音楽folkloreは、自然と体が動き出してしまいう軽快なリズムで、楽しく聞き覚えのある民族音楽です。豊かな自然の動植物から作り出された楽器から奏でられる音楽を、短い時間です楽しんで聞かせてください。

アバダカボエイラ

カボエイラはブラジル発祥の武芸です。私達アバダカボエイラはブラジルに本部を置き、60カ国以上に支部があり、日本でも様々な年代の入連がカボエイラを楽しんでいます。格闘技?ダンス?一言では定義できないカボエイラをお楽しみください。

NIOUN

ジャンベのほか、西アフリカの様々な楽器を演奏するプレイヤースーセナル出身のソジャセ・ニャン主宰のグループ。世界で数多くの公演、ワークショップの経験を持つ。2001年8月より拠点を日本に移している。

神奈川朝鮮中高級学校 民族管弦楽部

中学1年から高校3年生までの14人(※人数変更あり)が毎日楽しく練習しています。年に一度のコンクールに向けて日々練習に励んでいます。12月には毎年演奏会も催しております。そのほかにも地域でおこなわれるさまざまな行事や公演に出演しています。

横浜中華学校校友会 国術団

横浜中華学校校友会国術団は「中国伝統文化の継承」を趣旨として、横浜山手中華学校の卒業生が結成している団体です。また、横浜山手中華学校には在学生による獅子舞や舞龍などの特別クラブがあり、同団員の指導を受けながら練習に取り組んでいます。

あーすフェスタ発！！ Cinema Collection

シネマコレクション

にゅうじょうむりょう
入場無料

HAFU—the film ハーフ



あたらしい
世代の
日本人に
出会おう

日本初！ ハーフの女性監督2人による、ハーフたちの本音に迫ったドキュメンタリー映画

ハーフとして生きるとは？ 新しい世代の日本人とは？ また、国籍とは？ 人種とは？ 文化とは？

毎年、日本では2万人以上、49人に1人の子供がハーフとして生まれている。

監督・撮影・プロデューサー：西倉めぐみ、高木ララ 2013／日本／87min

5月18日(日) 13:30～15:30

ゲストトーク：矢野ディビット

あーすぷらざ 5F 映像ホール(開場13:15)

先着120名 (申込み不要)

主催：あーすフェスタかながわ2014実行委員会

ど きゅ め ん た りー えいぞう
ドキュメンタリー映像

むりょうじょうえい かんとく とく
無料上映&監督トーク



だい かい りきしゃ れーす お
「第2回リキシャレース」を終えて
ひろ わ
～広がる輪～

ばんぐらでしゅ ことし がつ そうせんきょ おこな さくねん く じょうせい ふあんてい
 Bangladeshでは今年1月に総選挙が行われ、昨年の暮れから情勢が不安定に。

がつごろ お つ ぶじ かいさい
 3月頃から落ち着きをみせはじめたものの、無事に開催できるのか…。

だい かいめ りきしゃ れーす う かずかず かのうせい にほんじん げんち ひと
 第1回目のリキシャレースで生まれた数々の可能性に、日本人や現地の人たちが
さんか あつ
 参加したいと集まってきていた。

がつ にち だい かい りきしゃ れーす かいさい ひ せま は れーす ゆくえ
 4月18日の第2回リキシャレース開催の日が迫っている。果たしてレースの行方は…？
せしりあ あみ きたじま
 (セシリア亜美 北島)

がつ にち にち
 5月18日(日) 10:30～12:00

かいじょう ぶらざ えいぞう ほーる
 会場：あーすプラザ 5F 映像ホール

げすと せしりあ あみ きたじま
 ゲスト：セシリア亜美 北島

さり むら かじょー る ろっきー
 サリムラ カジョール ロッキー

ふえすた じっこういいんかい
 あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会

にんげん うた おど
人間はなぜ歌い、踊るのか...

にゅう じょう む りょう
入場無料

ちゅうごく しょうすうみんぞく たず
中国55少数民族を訪ねて

てん ち がく ぶ じょうえい とく
「天地楽舞」上映&トーク



おんがく えいぞう ぶるでゆーさー らいたー
ゲスト：音楽・映像プロデューサー&ライター 市川捷護（いちかわ・かつもり）

たさい しゅうかんしゅうぞく のこ ちゅうごく しょうすうみんぞく おらむら たず にちじょう い
多彩な習慣習俗が残る中国55少数民族の村々を訪ねて、日常に生きている
うた おど さいれい ぎしき きろく えいぞう つう ひと しあわ ゆた
歌や踊りや祭礼・儀式などを記録した映像を通じて、人の幸せ、豊かさ、
ぶんか たようせい かんが
文化の多様性について考えてみたい。

がっ にち ど
5月17日（土）14:00 ~ 15:30

えいぞう ほーる かいじょう
あーすぷらざ 5F 映像ホール（開場 13:45）

せんちゃく めい もうしこ ふよう
先着 120 名（申込み不要）

しゅざい ふえすた じっごういんかい
主催：あーすフェスタかながわ2014実行委員会

Let's enjoy TALKING&LEARNING!!
楽しく話そう!一緒に学ぼう!

あーすフェスタかながわ 2014

がいこくせきけんみんふおーらむ

外国籍県民フォーラム

『これからの絆』

~ Understanding Your Friends More Deeply ~

☆一人一人を見てみよう☆

日時: 2014 年 5 月 17 日 (土)

13:30 ~ 16:30 (13:00 開場)

※飛び入り歓迎、途中休憩あり

会場: 神奈川県立地球市民かながわプラザ

(あーすぷらざ)

2 階 プラザホール

(※JR 根岸線「本郷台駅」下車、徒歩3分)



人と人の繋がりが生み出すパワーは、どのように社会を変えていくのか。日本における多文化共生とは？
生まれ育った地域・国籍は異なっても、友情を育み、絆を深めた4組のペアが登場。互いを認め合った
経緯、エピソードを語ります。また、数々の思いを形に変え、全国的な活動が続ける吉富志津代さんを
交え、会場の皆さんと、これからの未来、多文化共生について語り合います。申込み不要、無料。

出演者

■Angie Tong (カナダ)、岸 奈津実 (日本) ■江藤 セデカ、ファルク・アーセフィ (アフガニスタン)

■金泰崇 (コリア)、大野 良子 (日本) ■裴 安 (コリア)、水田 秀子 (日本)

■ゲスト: 大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授 吉富 志津代 (日本)

※舞台上のテーブルセッションに参加する人を大募集中!

興味のある学生、社会人、市民の皆さん、どうぞご参加ください!

お問合せ: あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会事務局

TEL: 045-896-2121 E-mail: v_staff@earthplaza.jp



主催: あーすフェスタかながわ 2014 実行委員会

ワークショッププログラム

17日
土曜

1F 大・中会議室

▶ せかいのあそびば 17日(土) 11:00~16:00

★世界のさまざまな遊びを子どもたちに体験してもらうコーナーです。中国・韓国朝鮮・インドネシア・日本のこま、フィリピンのバンブーダンス・スンカ、インドのキャロム...などなどの外国につながる中高生や大学生が遊びの説明をしながら一緒に楽しめるワークショップです。

講師：英学会、ヨコハマバザハッキョ、県立相模原青陽高校、県立横浜清隆総合高校、たぶんかフリースクールよこはま、在日本大韓民国青年会、トマト教室、桜美林大学草の根国際交流プロジェクト他

1F 研修室A

せかいのごあいさつを毛筆で
「出会ったらず まず ごあいさつ！
あなたの国のことばで「こんにちは」「お元気ですか」
やわらかい毛筆で、かぶよく、美しく
きつとうれしくなり、笑顔になります。」
十七日(土) 十一時~十六時 講師 栄区書道協会
師範の皆さん

2F 情報フォーラム

▶ せかいの絵本の読み聞かせとおはなし

17日(土) 13:00~16:00 1回30分程度 計6回実施

★いろいろなことばでの絵本の読み聞かせと人形劇、紙芝居です。英語以外の外国語にも触れることのできる機会です。絵本の展示もあります。

講師：ラクシャさん、セミージャ文庫・ベトナム留学生・多文化読み聞かせ隊の皆さん

1F 保育室 ほいくしつ

▶ せかいのわらべうた

17日(土) ①11:30~11:45 ②13:00~13:15
③14:00~14:15 ④15:00~15:15

★親子日本語教室や地域の日本語教室に通う外国の方々を講師に迎え、いろいろな国の手遊び歌、数え歌、わらべうたなどを一緒に楽しみます。

講師：親子日本語教室等受講者のみなさん

1F 創作スタジオ

▶ せかいの音と踊り

17日(土) ①14:00~15:00 世界にサバイディー
~ラオスの踊り~
②15:00~15:40 ジャンル・ジェンル
15:50~16:30 アフリカの太鼓

①ラオスでパーティのときや結婚式のときなどに踊られる踊りを体験してみよう!

②西アフリカのセネガル共和国出身のンジャセ・ニャンさん、ババカルさんと一緒に、アフリカのリズムを体験してみよう。

※動きやすい服装でご参加ください。②はスカートでの参加はご遠慮ください。

講師：①高山ビルンさん ②ンジャセ・ニャンさん、ババカル・ザボさん

1F ワークショップAルーム

▶ せかいのこうさく ~いろいろなものを作ってみよう

17日(土) 13:00~16:00

★講師と一緒に、飾りや遊びなどを作るコーナーです。17日は、中国や台湾に伝わる、ひもを結んで作る飾りです。いろいろな願いを込めて作りましょう。作ったものは記念に持ち帰りできます。

講師：小泉真由美さん(台湾)



ワークショッププログラム

子どもから大人まで気軽に体験できる参加型ワークショップを実施します。国籍・文化の違いを越えて、共に「遊ぶ」「飲む」「歌う」「演奏する」「踊る」「作る」ことで、「多文化共生」の楽しさを感じてください。

18日
日曜

1F 大・中会議室

▶ せかいのあそびば



18日(日) 10:00~16:00 ☆17日(土)と同じ内容です。

2F 情報フォーラム

▶ せかいの絵本の読み聞かせとおはなし

18日(日) 10:30~15:30 1回30分程度 計5回実施

☆17日(土)と同じ内容です。

14:00~15:00 インドネシアの影絵芝居

講師:スミヤントさん

1F 創作スタジオ

▶ せかいの音と踊り

18日(日) ①11:00~12:00 チャンゴの響き

②13:00~14:00 頭の上に「ツボ」をのせて
パラグアイダンス♪

③14:00~15:00 世界にニハオ2!
みんなで腰鼓をやってみよう

①韓国固有の伝統打楽器チャンゴは木の筒の両側に動物の皮を張った楽器。民謡や舞踊の伴奏やパンソリ、単体での演奏など、様々な場面で使用されています。チャンゴを叩いて、韓国独特のリズムを体験してみましょう。

②頭の上に「つぼ」を乗せてバランスを取りながら、音楽に合わせて踊ってみよう!

③中国でお祭りの時などに叩かれる腰鼓(ヤオク)と踊りをみんなでいっしょに楽しもう!

*①~③のプログラムともに動きやすい服装でご参加ください。

講師:①NPO農業教室 ②楠 瑞美子さん、座間総合高校 ③いきいきニハオの会



1F 研修室B

▶ せかいのスパイス

18日(日) 11:00~15:00

☆いろいろなスパイスの使い方を知って、カレーのスパイスづくりを体験しよう。
作ったスパイスは持ち帰りOK!

参加費:200円(スパイス代)

講師:ケーシーディネスさん(木パール)

1F ワークショップAルーム

▶ せかいのこうさく ~いろいろなものを作ってみよう

18日(日) 13:00~16:00

☆講師と一緒に、飾りや遊びなどを作るコーナーです。18日は、韓国・朝鮮に伝わるチェギチャギという遊びを作って一緒に遊びましょう。作ったものは記念に持ち帰りできます。

講師:李禎昇さん、金銀珠さん



あーすフェスタかながわ2014

ワークショップ・スタンプ・シート

あーすぷらざの1階と2階をまわって、

“せかいのあいさつ” スタンプをあつめよう！

あつめたら あーすフェスタの思い出をお手紙にしたり

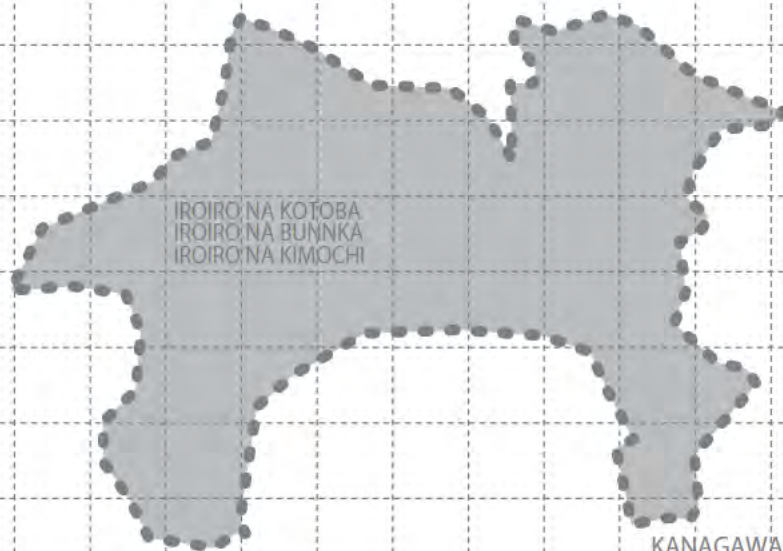
部屋にかざったりしてね。今日の写真をはるのもいいね！♪

スタンプがある部屋

2階 情報フォーラム

1階 創作スタジオ、ワークショップ・ルーム、保育室、会議室、研修室A・B

きりとり



えをかいたり
するとさらに
すてきに♪



※写真や絵はすべてイメージです

かながわ2014 交流・展示プログラム

交流と展示ワールド～かながわから世界へ！



せかい
世界のことばで
はな
話してみよう！



みんぞくがっき
民族楽器を
さわってみよう

じゃいか けんこくさい か かつどうしょうかい
JICA・県国際課の活動紹介、

せかいいっしゅう しょうえい
「世界一周」DVD上映、

がいこくじんがっこう
外国人学校のこどもたちの

え くら すしょうかい
絵とクラス紹介 など



みんぞくいしょう きねんさつえい
民族衣装で記念撮影

ばしょ かい りりすぎゃらりー りりすかいぎしつ
場所：2階 リリスギャラリー、リリス会議室

てんじじかん
展示時間： 10:00～16:30

うら み
裏も見てね！



わからないことがあればスタッフに聞いてください！

かながわ 2014

交流・展

活動紹介

かながわけんこくさいか
神奈川県国際課、

じゃいかよこはま がいこくせき
JICA横浜、外国籍

けんみん かいぎ
県民かながわ会議の

かつどう しょうかい
活動を紹介します

てんじ
展示

絵画展

テーマ：「本の世界」

がいこくじんがっこう こ
外国人学校の子ども

えが さくひん
たちが描いた作品

てん てんじ
50点以上を展示

します

みんぞくいしょう き
民族衣装を着て

きねんさつえい
記念撮影をしたり、

みんぞくがっき
民族楽器にさわった

いぶんか たいけん
り、異文化を体験して

みよう

みんぞくいしょう がっき
民族衣装/楽器

せかい え
世界の絵はがきや

ばら お
パラオとのつながり

しょうかい ちきゅういっしゅう
の紹介、「地球一周

ふなたび
の船旅」の DVD

しょうえい
上映など

りりすかいぎしつ
リリース会議室

「世界のことで話してみよう！」

がいこくご
外国語のあいさつを

く い す あそ まな
クイズで遊びながら学ぼう

*17日 11:30~16:15

*18日 13:30~16:15

かく ひる やす
・各15分、昼はお休み

くわ
詳しくはリリースへ！

さんか がた
参加型
きかく
企画

クイズラリー

く い す こた こーる
クイズに答えてゴール

けいひん
で景品をもらおう！

*2階総合受付の後ろ

う っ
で受け付け、あーす

ぜんかん じっし
ぶらざ全館で実施

「未来はみんなで つくるもの」

ふ え す た
あーすフェスタや

たぶん かきょうせい かん
多文化共生に関して

いけん か
あなたの意見を書いて

みませんか？

けんこくさいか ていしゅつ
県国際課に提出されます

「はじめまして！ みんな！」

がいこくじんがっこう
外国人学校のみんなの

くら すしょうかい はっぴょう あそ
クラス紹介発表、遊び

しょうかい こうりゅう
紹介で交流しよう！

*18日 11:00~12:30

いっぱんらいじょうしゃ さんか じゆう
・一般来場者 参加自由